

愛知県 精神医療センターの概要

令和8年度



基本理念

持てる資源と知識と技術を総動員し、知恵と工夫を加えて、疾患や障害からの回復をお手伝いします。

基本方針

1. 安全で良質な模範的医療を提供し、保健・医療・福祉機関、地域との連携に努めます。
2. 急性期・救急医療に力を注ぎ、社会参加の促進と生活の支援に努めます。
3. 情報公開に努め、開かれた精神医療センターを目指します。
4. センター職員及び県内の精神科医療関係者の皆様の教育・研修を積極的に行い、資質の向上に努めます。
5. 経営改善に努め、効率的な運営を目指します。

患者の皆様の権利

1. ひとりの人として尊重される権利があります。
2. 公平で安全かつ良質な医療を受ける権利があります。
3. 治療内容や方針について、十分な説明を受ける権利及び第三者に対し不服を申し立てる権利があります。
4. 治療上必要な範囲を超えた行動制限をされない権利があります。
5. 個人情報を保護される権利があります。

目 次

1	運営方針	1
2	沿 革	3
3	施設等	5
4	組織及び職員数	6
5	病棟組織	7
6	診療の概要	7
7	患者の状況	18
8	業務の状況	25
9	経理状況	27
10	類似病院との比較	30
11	院内研修教育活動の状況	32
12	精神医療センター配置図	35
13	建物別平面図	36
14	案 内	47
15	愛知県の精神科病院(精神病床を有する病院)一覧	48

1. 運営方針

当院は、昭和7年に全国で6番目の都道府県立精神科病院として「愛知県立精神病院」という名称で設置されました。当時の精神科医療は非常に貧弱で、患者の保護救済は社会の課題でした。設立当初の意義は、ほぼ放置されていた精神障害を持つ方々を、医療や保護の対象としたことが大きかったと思います。

その後、精神医療は収容主義や「精神病院パラダイス論」（精神障害者は精神科病院内で幸せな人生を全うするのがよいとする考え方）に基づく医療、リハビリテーションの発展による、入院中に社会復帰までのリハビリを完結させる病院リハビリテーションの時代を経て、早期退院し地域に戻し、地域でリハビリテーションを進める方向へと進化してきました。精神病院パラダイス論のころには、院内で豚や鳥を飼育し、野菜を作り、季節ごとに治療キャンプを積極的に行いました。精神病院開放の時代には、院内リハビリテーションを積極的に行い、入院患者の半数が作業療法に参加し、全国から見学者が多数訪れました（当院や精神科医療の歴史は、当院ホームページ「当センターについて→愛知県精神医療センターの歩み」に歴史的な写真とともに詳細に記載されていますので、ぜひご覧ください）。

当院は、昭和7年に20床で始まりましたが、いずれの時代もその時代の水準の高い先進的医療を提供してきました。昭和53年には392床まで増床しましたが、その後、精神科医療が入院中心から早期の社会復帰や精神科救急が重視されるようになり、改築前の数年間は50年以上前に建てられた病棟を継続使用していたこと等から、地域からの救急入院依頼に応えられず、時代の先端を行くモデル的医療を提供できない時期が続きました。

そんな中、平成26年8月に現在の新病院の建築工事が始まり、平成30年2月にすべての建物が完成しました。救急病棟、児童青年期病棟、医療観察法病棟などの機能分化した7病棟273床の新しい病院として、フルオープンを迎えることとなりました。改築の過程において、長期入院患者の地域移行を進め、新病院では新たな長期入院者を作らないことを目標に、多職種チームにより入院早期から治療を行い、今では平均在院日数60日台、5年以上の長期入院者は10%未満という急性期中心の病院に生まれ変わりました。

そのような中、令和2年から5年にかけてのコロナ禍となり、当院は県内唯一の精神障害者コロナ陽性患者の専門病棟として、多くの患者を受け入れました。ただ、改築により増加していた平均在院患者数は大幅に減少することとなりました。しかし、その後精神科クリニックや愛知県、名古屋市の児童相談所との連携、また開かれた病院をめざして多くの医療福祉関係者に対する病院見学などを行うことによって、幅広く患者さんを紹介していただけることとなり、令和6年度には初めて新入院患者数が1,000人を超え、平均在院患者数も改築後の最大人数に迫るようになってきております。

今後も、県内唯一の県立単科精神病院として、県民の皆様の期待に応えられる、精神科医療の中核としてより良質な医療を提供していきたいと考えています。

愛知県精神医療センターの基本理念と基本方針は別掲しますが、基本理念と基本方針を実現するための具体的な取り組みは次頁のとおりです。

1. 愛知県唯一の県立精神科病院として、愛知県の精神科医療の中核としての役割を果たす
 - 夜間休日の愛知県精神科救急システムへの参加など精神科救急医療や医療観察法の医療への対応強化
 - 児童相談所、警察、保健所、県や名古屋市の精神保健部門との連携を推進
 - ケア会議やカンファレンスの開催などを通して患者、家族、支援者および関係機関との支援ネットワークの形成
 - DPAT 先遣隊の派遣や災害拠点精神科病院として、県の災害精神医療の中核的役割を担う
2. 高度で良質な医療の提供
 - 児童青年期、成人発達障害などの高度で先進的な精神科専門医療を充実させる
 - mECT やクロザピンの積極的施行などにより、他院では対応困難な重症患者への先進的な医療を強化
 - ACT（包括型地域支援プログラム）による ICM（包括的支援マネジメント）への橋渡しなど、精神科医療のモデルとなる取組の推進
 - 依存症に対応した治療プログラムの充実
 - 精神科医療も参加することとなった地域医療構想を見据えた身体科病院との連携の強化
3. 県内の医療の中心となる人材の育成
 - 精神保健指定医、精神科専門医等の育成、初期臨床研修医や看護師等のメディカルスタッフの研修の積極的受け入れ
4. 取り組みの見える化
 - ホームページの充実、公開講座の開催、広報誌の発行などによる県民への分かりやすく積極的な情報発信
 - 地域連携室が中心となって地域医療との連携強化を通じた当院への信頼度の向上
5. 持続可能な安定した経営基盤の確立
 - 地域医療機関との連携強化による患者増
 - 病棟や人的リソースの柔軟で効率的な活用

以上の取り組みを、全職員が一丸となって誠心誠意努力していきます。

令和8年6月

2. 沿革

年 月 日	概 要
昭和 7. 12. 6	現在地（名古屋市千種区徳川山町）に「愛知県立精神病院」として20床で開設
10. 10. 23	管理棟、北病棟及びボイラー室竣工、100床（鉄筋コンクリート2階建、延2, 359. 5㎡）となる。
15. 3. 31	中央管理棟竣工、200床となる。
22. 2. 22	「愛知県立城山病院」と改称。24年には伝染病隔離病舎（9床）竣工
26. 8. 15	西病棟（女子軽症棟）65床及び看護婦宿舎竣工
28. 1. 1	児童病棟20床及び看護士寄宿舍竣工
31. 9. 1	藤楓荘（ハンセン病患者一時救護所）設置
33. 9. 6	中病棟竣工（140床）
33. 10. 1	基準看護三類（精神）、基準給食、基準寝具承認
34. 6. 1	内科、小児科、外科、産婦人科の外来一般診療開始
34. 9. 16	南病棟（100床）、3階ホール（中病棟）、北下病棟看護婦詰所及び電気室竣工
35. 4. 1	児童病棟閉鎖し一般病棟（20床）に改築。入院診療開始
35. 6. 1	看護婦寄宿舍及び社会復帰病棟竣工
35. 9. 15	洗濯室竣工
39. 4. 1	地方公営企業法（昭和27年法律第292号）の財務規定等の一部適用
41. 4. 1	一般病床を精神病床に切替え380床とする。一般は外来のみとなる。
41. 6. 1	基準看護精神2類実施承認
46. 6. 1	藤楓荘が尾張病院敷地内へ移転
47. 6. 2	改築基本設計に着手（昭和47年から6年計画で全面改築）
47. 8. 4	看護婦宿舎建築に伴う西病棟（68床）取りこわし
48. 5. 31	看護婦宿舎（68人）竣工
49. 7. 1	基準看護精神1類実施承認
49. 7. 10	改築工事のため許可病床数313床とする。
49. 12. 27	東病棟（101床）、エネルギーセンター及び厨房棟竣工
50. 2. 4	改築工事のため許可病床数308床とする。
50. 3. 31	北病棟（91床）、ソーシャルセンター、看護婦宿舎（38人）及び託児所（30人）竣工
50. 9. 30	診療管理棟新築に伴い旧北病棟等（91床）取りこわし
51. 11. 1	基準看護精神特1類実施承認
51. 11. 25	診療管理棟竣工。防火用水槽、車庫、渡り廊下竣工
52. 3. 29	改築工事のため許可病床数298床とする。
52. 9. 14	中病棟（100床）改築工事竣工
53. 3. 29	南病棟（100床）改築工事及び託児所増設（20人）工事竣工
53. 4. 28	改築工事完了し、許可病床数392床となる。
54. 6. 1	基準看護精神特2類実施承認
54. 12. 21	温室竣工
55. 10. 1	精神科作業療法について承認
62. 3. 18	城山デイ・ケアセンター竣工
62. 7. 1	精神科デイ・ケアについて承認
平成 1. 4. 1	精神保健法第33条の4第1項の規定に基づき応急入院指定病院（1床）に指定される。
2. 3. 19	北下病棟保護室増設工事竣工
3. 3. 19	中央浴室竣工（東下病棟）
6. 5. 1	精神療養病棟入院料（A）承認（北上病棟）
6. 9. 1	精神科救急医療システムの参加（月1回）
6. 10. 1	新看護3対1看護、13対1看護補助承認（7病棟）
6. 12. 1	新看護3対1看護、13対1看護補助変更承認（6病棟）
〃	精神療養病棟入院料（A）承認（東下病棟）
8. 3. 12	診療管理棟スプリンクラー設置工事竣工
8. 3. 20	南病棟等改修工事竣工
8. 4. 1	精神科救急医療システムの参加（月2回）
8. 10. 25	中病棟等自動火災報知設備改修工事竣工
10. 3. 10	南側擁壁整備竣工
10. 3. 25	自動火災報知設備改良工事竣工
10. 7. 1	精神科ナイト・ケアについて承認

年 月 日	概 要
平成 11. 12. 1	精神科救急医療システムの専用病床の運用開始（2床）
12. 4. 1	15対1看護補助承認（6病棟）
〃	日本老年精神医学会専門医制度指導医研修施設認定
13. 2. 1	薬剤管理指導料承認
14. 2. 28	北上病棟改修工事竣工
14. 4. 1	中下病棟閉鎖、第2デイ・ケアへ改修工事
14. 5. 1	精神科第2デイ・ケアについて承認
14. 7. 16	精神科救急医療システムの専用病床の運用（2床→3床）
14. 10. 1	精神科急性期治療病棟について承認（北上病棟）
15. 2. 28	渡り廊下改修工事竣工
15. 3. 25	病棟屋上等防水改修工事竣工
15. 4. 1	許可病床数342床となる。
15. 10. 1	協力型臨床研修病院指定
15. 12. 19	東病棟屋上給水管改修工事竣工
16. 3. 19	中病棟耐震改修工事竣工
〃	屋外消火栓配管改修工事竣工
16. 4. 1	地方公営企業法の全部適用とする。
17. 3. 18	看護婦宿舎等解体工事完了
17. 4. 1	外科を廃止し、精神科・神経科・内科・歯科の4診療科となる。
17. 7. 15	心神喪失者等医療観察法に基づく指定通院医療機関指定
17. 8. 1	心神喪失者等医療観察法に基づく鑑定入院医療機関指定
18. 1. 1	（社）日本精神神経学会精神科専門医制度研修施設認定
18. 2. 20	南病棟耐震改修工事竣工
18. 3. 27	北下病棟改修工事竣工
18. 4. 1	精神科ショート・ケアについて承認
20. 3. 10	厨房棟改修工事竣工
26. 2. 14	全面改築前期工事着工
28. 2. 22	全面改築前期工事建物竣工（外来棟、西棟、南病棟）
〃	「愛知県精神医療センター」と改称
〃	神経科を廃止し、精神科・児童精神科・内科・歯科の4診療科となる。
28. 3. 1	精神病棟入院基本料（15対1）について承認（3病棟）
〃	精神科急性期治療病棟入院料1について承認（西2病棟）
〃	精神療養病棟入院料辞退（東下病棟）
28. 3. 9	許可病床数334床となる。
28. 4. 1	精神病棟入院基本料（15対1）について承認（4病棟）
28. 8. 1	精神科救急入院料1について承認（西2病棟）
28. 9. 1	心神喪失者等医療観察法に基づく指定入院医療機関指定
〃	許可病床数315床となる。
〃	全面改築後期工事着工
28. 10. 1	精神科急性期治療病棟入院料1について承認（西3病棟）
29. 6. 1	児童・思春期精神科入院医療管理料について承認（北上病棟）
30. 1. 30	許可病床数273床となる。
30. 2. 1	全面改築後期工事建物竣工（東病棟・北棟）
〃	児童・思春期精神科入院医療管理料について承認（東1病棟）
〃	精神病棟入院基本料（15対1）について承認（西4・東2・東3病棟）
〃	精神科救急医療システムの専用病床の拡充（3床→5床）
30. 8. 31	全面改築工事完了
令和 2. 3. 31	愛知県の災害拠点精神科病院として指定
3. 9. 1	精神病棟入院基本料（13対1）について承認（西4・東2・東3病棟）
4. 4. 1	精神科救急医療体制整備事業における常時対応型精神科救急医療施設指定
7. 6. 1	精神科急性期治療病棟入院料1について承認（西4病棟）

3. 施設等

(1) 開設年月日

昭和7年12月6日

(2) 診療科目及び病床数等

ア 診療科目	精神科・児童精神科・内科・歯科
イ 病床数	精神 273床
ウ 施設基準等承認・届出	○13対1入院基本料・看護補助加算2（東2・東3病棟） ○精神科救急急性期医療入院料（西2病棟） ○精神科急性期治療病棟入院料1（西3・西4病棟） ○児童・思春期精神科入院医療管理料（東1病棟） ○精神科作業療法施設基準 ○精神科ショート・ケア施設基準 ○精神科デイ・ケア施設基準 ○精神科デイ・ナイト・ケア施設基準 ○精神科ナイト・ケア施設基準 ○精神科応急入院指定病院 ○薬剤管理指導料施設基準 ○心神喪失者等医療観察法に基づく指定入院医療機関 ○心神喪失者等医療観察法に基づく指定通院医療機関 ○心神喪失者等医療観察法に基づく鑑定入院医療機関

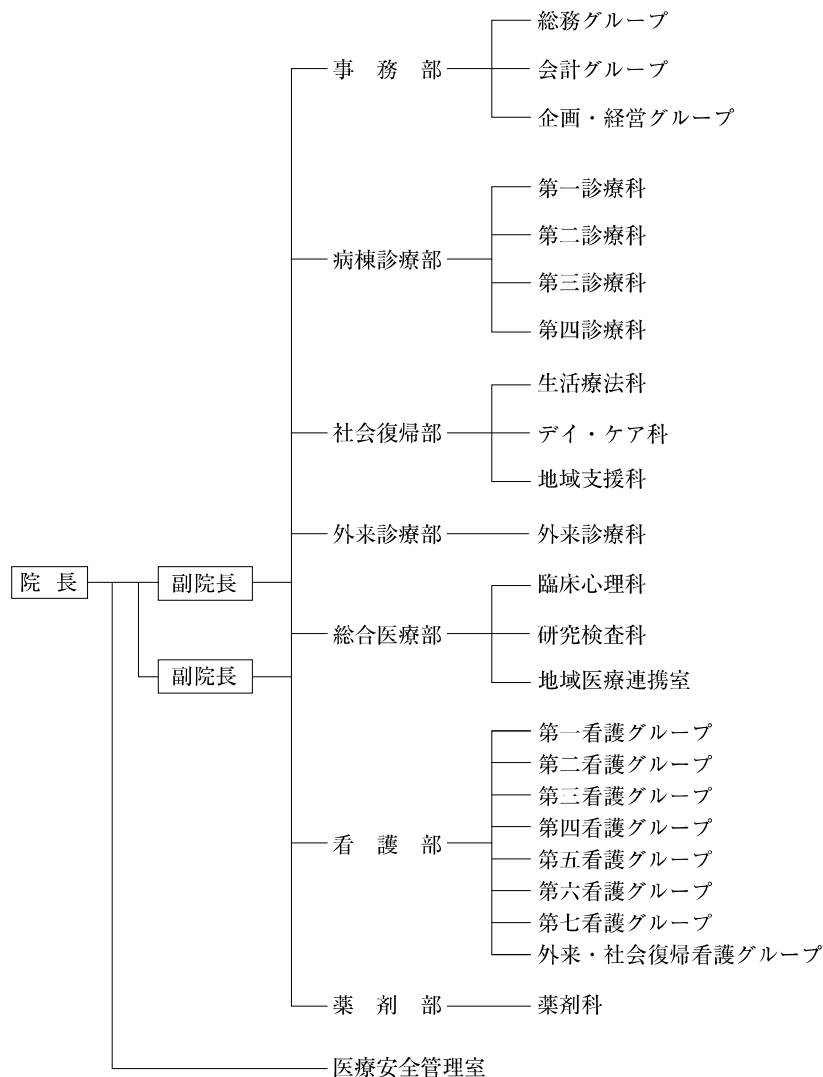
(3) 土地及び建物（令和8年4月1日現在）

ア 土地面積		48,635.030㎡
イ 建物面積		20,839.25㎡
・ 外来棟	鉄筋コンクリート造3階建（一部鉄骨造）	6,331.40㎡
・ 西棟	鉄筋コンクリート造4階建	6,169.56㎡
・ 南病棟	鉄筋コンクリート造地下1階地上2階建	2,492.15㎡
・ 東病棟	鉄筋コンクリート造3階建	4,562.70㎡
・ 北棟	鉄筋コンクリート造2階建（一部鉄骨造）	1,132.54㎡
・ その他付属建築物		150.90㎡

4. 組織及び職員数

(1) 組 織

(令和8年4月1日現在)



(2) 職員数

(令和8年4月1日現在)

職 種 別	総 数	医 師	薬 剤 師	臨床 検査 技師	放射 線 技師	栄 養 士	事 務	看 護 師	作 業 療 法 士	医療 社会 事業 士・ 福祉 士	臨 床 心 理
定 数	227 (21)	21 (4)	3 (1)	1 (2)	(1)	1 (1)	12 (2)	164 (9)	7	11 (1)	7
現 員	228 (27)	19 (1)	4 (2)	2 (2)	(1)	1 (1)	12 (5)	165 (8)	7 (1)	11 (5)	7 (1)

(注) 定数、現員の () 内は、非常勤、再任用 (短時間)、レジデントを外数で示す。

5. 病棟組織

区分 病棟名	病 棟 の 内 容		病床数	看護師数 (常勤)	夜 間 看 護 体 制	
					深 夜	準 夜
西 2 (第一)	閉 鎖	救 急 対 応	(1 3) 床 4 4	人 2 3	人 3	人 3
西 3 (第二)	閉 鎖	急 性 期 対 応	(1 0) 4 4	2 4	3	3
西 4 (第三)	閉 鎖	急 性 期 対 応	(2) < 2 > 4 5	1 7	2	2
東 1 (第四)	閉 鎖	児 童 ・ 青 年 期 病 棟	(2) 2 2	2 0	2	3
東 2 (第五)	閉 鎖	一 般	(8) 5 0	2 4	3	3
東 3 (第六)	閉 鎖	一 般	(1 2) 5 0	2 2	3	3
南 (第七)	閉 鎖	医 療 観 察 法	(1) 1 8	2 3	3	3
計	閉 鎖 7 病 棟		(4 8) 2 7 3	1 5 3	1 9	2 0

(注) 病床数欄の () 内は保護室数、< > 内は特別室数の再掲である。

6. 診療の概要

精神科治療の三本柱は以下のとおりである。この三つを組合わせて良質で信頼される精神科医療を目指している。

薬物療法

種々の向精神薬による症状の鎮静、改善を図るとともに、常に健康状態を観察しながら、諸検査を定期的 to 実施し、副作用の発見と防止に努めている。

精神療法

治療者との面談を通して、心に安らぎを与え、現在の葛藤を処理し、自己洞察をも得ることを目指している。

リハビリテーション

入院、外来者に対して、個別性のあるプログラム（作業療法、デイケア、SST、依存症集団プログラム、認知プログラムなど）を多職種間での連携を通して、疾病や自信の回復、経験の獲得、生活の安定などの支援に向けて取り組んでいる。

(1) 政策・行政医療

ア 応急・救急・急性期治療等

県立病院の主要な機能の一つとして、24時間体制で救急医療への対応強化を図っている。

愛知県の精神科救急医療システムは、県内を3つのブロックに分け各ブロックに当番病院・後方支援基幹病院を置き、輪番制による救急体制を敷いている。当番病院等が満床などの理由により患者の受け入れが困難な場合*、当院が患者を受け入れることとしていたが、令和5年6月に精神科救急体制が見直され、当院は当番病院・後方支援基幹病院としての役割も果たしている。

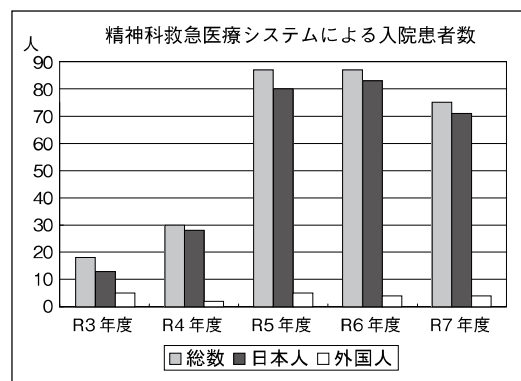
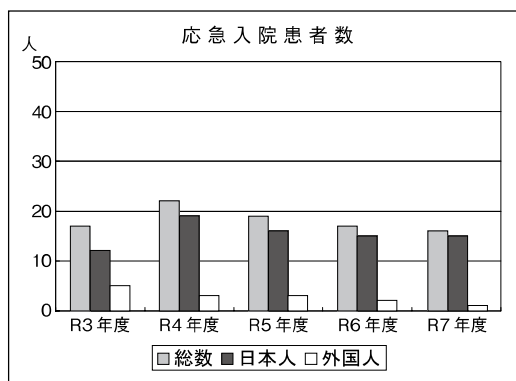
*令和2年3月から令和5年5月7日までは、コロナ対応として有熟者の受け入れを実施

応急入院患者数

年度別	区 分	総 数	日本人	外国人
令和 3 年度		17人	12人	5人
令和 4 年度		22	19	3
令和 5 年度		19	16	3
令和 6 年度		17	15	2
令和 7 年度		16	15	1

精神科救急医療システムによる入院患者数

年度別	区 分	総 数	日本人	外国人
令和 3 年度		18人	13人	5人
令和 4 年度		30	28	2
令和 5 年度		87	80	5
令和 6 年度		87	83	4
令和 7 年度		75	71	4



外国人国籍別入院患者数

年度別	区 分	総 数	国 籍 別 患 者 数
令和 3 年度		23人	インドネシア(1)・ウガンダ(1)・スリランカ(1)・タイ(1)・ドイツ(1) 韓国(1)・トルコ(1)・ナイジェリア(1)・ネパール(1)・パキスタン(1) フィリピン(7)・ブラジル(2)・ペルー(1)・中国(3)
令和 4 年度		24	ブラジル(2)・ナイジェリア(1)・スリランカ(3)・フィリピン(6)・中国(4)・韓国(2) ペルー(1)・ベトナム(1)・ミャンマー(1)・米国(1)・エクアドル(1)・パキスタン(1)
令和 5 年度		32	ブラジル(5)・フィリピン(10)・パキスタン(1)・ペルー(2)・ベトナム(1) 韓国(2)・中国(6)・ネパール(1)・ナイジェリア(1)・北朝鮮(1)・ボリビア(1) スリランカ(1)
令和 6 年度		22	フィリピン(5)・ブラジル(5)・中国(3)・韓国(2)・カナダ(2)・コロンビア(1) ペルー(1)・ボリビア(1)・アメリカ(1)・インドネシア(1)
令和 7 年度		34	ブラジル(9)・フィリピン(8)・中国(5)・パキスタン(2)・ペルー(2)・インド(2) 南アフリカ(1)・韓国(1)・ボリビア(1)・ネパール(1)・ウクライナ(1)・コンゴ(1)

精神科救急病棟（西2病棟）

年度別	区 分	延患者数	救急対象患者数	率	病床利用率
令和 3 年度		9,853 人	9,164 人	93.0 %	61.4 %
令和 4 年度		10,709	9,830	91.8	66.7
令和 5 年度		12,079	11,409	94.5	75.0
令和 6 年度		12,321	10,958	88.9	76.7
令和 7 年度		12,182	10,098	82.9	75.9

精神科急性期治療病棟（西3・西4病棟）

年度別	区 分	延患者数	急性期治療 対象患者数	率	病床利用率
令和 3 年度		10,274 人	6,933 人	67.5 %	60.4 %
令和 4 年度		11,030	7,145	64.8	68.7
令和 5 年度		12,089	9,308	77.0	75.1
令和 6 年度		12,402	9,583	77.3	77.2
令和 7 年度		20,228	12,524	61.9	73.0

（注）西4病棟は令和7年6月1日からカウント

イ 措置診察及び実地審査

年度別	区 分	精神措置診察	精神病院実地 指導・実地審査
令和 3 年度		17 件	54 件
令和 4 年度		21	52
令和 5 年度		8	45
令和 6 年度		11	36
令和 7 年度		15	41

ウ 医療観察法関連業務

年度別	区 分	指定入院（年度末）	指定通院	鑑定入院
令和 3 年度		16 人	8 人	4 人
令和 4 年度		17	8	1
令和 5 年度		17	8	5
令和 6 年度		16	7	2
令和 7 年度		16	9	4

(2) 専門外来

ア 児童専門外来

平成 15 年度から20歳未満を対象とした児童青年期専門外来を開設し、平成30年度からは、中学卒業までを対象とする児童専門外来に特化した。

対象 原則として 16 歳未満（中学生まで）

初診 月曜日 2回／月（予約制）

区 分 \ 年度別	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
初 診 患 者 数	105 人	81 人	64人	17 人	31 人

イ 成人発達障害専門外来

児童青年期専門外来に発達障害の診断を求める成人の受診が多くなり、平成24年度から成人発達障害専門外来を独立させた。医師 1 名で開始し、平成26年度から心理士 1 名、平成28年度からは精神保健福祉士1名を配置し、平成30年度からは医師 2 名体制となった。当専門外来の新患数の推移は以下のとおりである。

初診 木曜日（予約制）

区 分 \ 年度別	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
初 診 患 者 数	88 人	91 人	99人	81 人	119 人

ウ 物忘れ専門外来

物忘れなどの自・他覚症状を持つ患者さんの診断、社会資源などの利用の仕方とその説明、家族への助言などを主な業務としている。他科医師や痴呆を専門としない精神科医師からの「痴呆と思われるがよく分からない。」といった診断困難例や、家族が痴呆の診断を他院で受けたが納得できないといったセカンドオピニオンを求めている受診を主な対象としている。

初診 金曜日（予約制）

区 分 \ 年度別	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
初 診 患 者 数	16 人	14 人	9 人	9 人	12 人

エ てんかん専門外来

近年、てんかんは精神疾患とはとらえられなくなっているが、一方で抑うつ・不安や幻聴・妄想など精神症状を合併する例があることはよく知られており、精神科におけるてんかん診療のニーズは現在も存在する。

当外来では、概ね、13歳以上でてんかんが疑われる症状がある人の診断や、既にてんかんの治療を受けている人の精神医学的合併症等についての相談を行っている。

初診 月曜日 1 回又は 2 回／月（予約制）

区分 \ 年度別	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
初 診 患 者 数	16 人	14 人	15 人	27 人	12 人

オ アルコール依存症家族相談

アルコールを含めた依存症は、社会において大きな課題の一つです。令和４年度からアルコール依存症の家族窓口を設置した。アルコール依存症に悩む患者様のご家族の方を対象に、相談を受け付けている。

区分 \ 年度別	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
初診患者数	５人	１１人	８人	１１人

カ 夜間外来

就学、就労しながら外来治療を受けられるよう、予約制で週に２回、令和５年５月からは週に１回火曜日午後８時（受付時間は午後５時から午後７時まで）まで行っている。

区 分 \ 年度別	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
延 患 者 数	８５５人	７８７人	７７３人	６５６人	６６４人
診 療 日 数	９９日	９３日	５４日	５１日	４８日
１日平均患者数	８.６人	８.５人	１４.３人	１２.９人	１３.８人

(３) 精神療法・心理療法

精神科医がおこなう場合は精神療法、臨床心理士がおこなう場合は心理療法という。

ア 精神療法

年度別 \ 区 分	入院精神療法Ⅰ	入院精神療法Ⅱ	標準型精神分析療法		通院精神療法
			入 院	外 来	
令和３年度	７０８件	４,８１１件	３３０件	６００件	２６,０４４件
令和４年度	７３５	５,２７０	３０２	５５２	２４,４７４
令和５年度	９９７	６,２４１	２５８	３０２	２３,９０４
令和６年度	１,５０５	６,７７３	３０５	４１７	２３,３４８
令和７年度	１,４１３	６,０５６	３９９	４２２	２２,５７４

イ 心理療法

医師が必要と認めた患者については、臨床心理士による心理療法が行われる。患者の自己理解・心の統合・成長を促し、症状や問題の解決を図るものである。

また、児童青年期患者を対象とした集団心理療法を週１回実施している。

区分 \ 年度別	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
個人心理療法	２,９２５件	２,５４９件	３,００９件	２,９７３件	２,７２１件
集団心理療法 (参加延人数)	４５件 (２６９人)	４６件 (２５６人)	４０件 (２８０人)	４３件 (２８５人)	４４件 (３６０人)

(4) 社会復帰支援

ア デイケアおよびナイトケア

成人デイケア及び児童デイケアを設置。各々特徴を持ち、ミーティング、レクリエーション、スポーツ、園芸、創作活動、生活支援、就労支援、季節毎のイベント等の集団活動や個人活動、利用者のニーズに合わせた個別対応を行っている。成人デイケア内では、成人発達障害の専門プログラムも行っている。ナイトケアは、毎週1回実施している。

第1 デイケア

区分 年度別	年間出席者総数	1日平均出席者数	在籍者数 (年度末)	入籍者数	退籍者数
令和3年度	6,036 人	25.0 人	105 人	38 人	37 人
令和4年度	5,904	24.2	90	46	45
令和5年度	5,779	23.9	95	56	41
令和6年度	5,916	24.3	94	53	44

第2 デイケア

区分 年度別	年間出席者総数	1日平均出席者数	在籍者数 (年度末)	入籍者数	退籍者数
令和3年度	8,107 人 (804)	30.7 人	194 人	102 人	131 人
令和4年度	7,798 (668)	32.3	205	115	100
令和5年度	7,232 (887)	30.0	246	85	77
令和6年度	6,970 (781)	26.8	255	105	44

(注)年間出席者総数の()内は、成人発達プログラム参加者の再掲である。

(注)令和7年度より第1デイケアと第2デイケアを統合

成人デイケア

区分 年度別	年間出席者総数	1日平均出席者数	在籍者数 (年度末)	入籍者数	退籍者数
令和7年度	12,074 人 (745)	47.5 人	365 人	187 人	156 人

(注)年間出席者総数の()内は、成人発達プログラム参加者の再掲である。

(注)令和6年度までは第1・第2デイケアで運営

児童デイケア

区分 年度別	年間出席者総数	1日平均出席者数	在籍者数 (年度末)	入籍者数	退籍者数
令和3年度	1,575 人	6.5 人	27 人	34 人	36 人
令和4年度	1,506	6.2	34	22	19
令和5年度	1,458	6.0	35	41	41
令和6年度	1,196	4.92	46	37	28
令和7年度	1,168	4.6	43	49	56

(退籍者の転帰)

(第1デイケア)

年度別 \ 区分	総 数	就 労	家庭内適応	就 学	施設入所	中 断	入 院	その他
令和3年度	37 人	1 人	2 人	0 人	0 人	1 人	31 人	2(死亡1) 転院1
令和4年度	45	2	5	0	0	0	36	2(転院2)
令和5年度	41	0	0	0	0	0	39	2(転院2)
令和6年度	44	0	2	0	0	0	39	3(死亡2) 転院1

(第2デイケア)

年度別 \ 区分	総 数	就 労	家庭内適応	就 学	施設入所	中 断	入 院	その他
令和3年度	131 人	0 人	72 人	0 人	0 人	4 人	55 人	0 人
令和4年度	100	0	44	0	0	8	41	7(死亡1) 転院6
令和5年度	77	0	20	0	0	0	54	3(死亡1) 転院2
令和6年度	44	0	5	0	0	0	39	0

(注) 令和7年度より第1・第2デイケアを統合

(成人デイケア)

年度別 \ 区分	総 数	就 労	家庭内適応	就 学	施設入所	中 断	入 院	その他
令和7年度	156 人	1 人	19 人	0 人	0 人	26 人	101 人	9(死亡3) 転院2 終了4

(注) 令和6年度までは第1・第2デイケアで運営

(児童デイケア)

年度別 \ 区分	総 数	就 労	家庭内適応	就 学	施設入所	中 断	入 院	その他
令和3年度	39 人	2 人	2 人	3 人	1 人	4 人	19 人	8(転院2) 年令5 初脱1
令和4年度	19	0	1	0	0	4	10	4(年令4)
令和5年度	41	0	3	1	0	4	26	7(年令7)
令和6年度	28	0	0	0	0	13	13	2(年令2)
令和7年度	56	0	1	3	1	8	30	13(死亡1) 転院3 年令9

ナイトケア

年度別 \ 区分	年間出席者総数	1日平均出席者数	在籍者数 (年度末)	入籍者数	退籍者数
令和3年度	521 人	10.8 人	24 人	2 人	0 人
令和4年度	381	7.5	27	3	0
令和5年度	436	8.7	31	4	0
令和6年度	348	6.96	36	5	0
令和7年度	449	9.2	32	6	0

(注) デイ・ナイト・ケアを含む。

イ 作業療法

作業療法では、個性性を重視して、各々の興味、能力や障害のレベルに応じて、作業活動を選択して提供している。作業療法センターでは入院者と外来者に対して、陶芸、創作、ヨガと活動別に個別の目標、目的に合わせ小集団を活用して治療を行っている。病棟でも、城山ホール、病棟内のホール内で、余暇活動をサポートするレクリエーション活動、音楽療法士とともにリラクゼーションの時間を提供、認知行動療法などを通してコミュニケーションの取り方、考え方の幅を広げていくサポート活動など幅広い治療プログラムを実施している。個別対応が必要な場合は個人 OT という枠組みで対応している。

作業療法センターのグループ別実施件数

年度別 \ 区分	陶芸	創作	ヨガ	生活	依存症 集団療法	スポーツ	合計人数
令和 3 年度	329 ^人	1,493 ^人	146 ^人	— ^人	— ^人	— ^人	1,968 ^人
令和 4 年度	421	1,708	317	—	6	—	2,452
令和 5 年度	356	1,611	283	30	13	117	2,410
令和 6 年度	368	1,531	177	129	32	141	2,378
令和 7 年度	272	1,973	233	43	30	307	2,858

病棟の作業療法の年度別実施件数

年度別 \ 区分	病棟活動	個人OT
令和 3 年度	3,186 ^人	264 ^人
令和 4 年度	3,705	293
令和 5 年度	4,072	111
令和 6 年度	3,965	205
令和 7 年度	4,195	136

作業療法総数の年度別実施件数

年度別 \ 区分	総数
令和 3 年度	5,418 ^人
令和 4 年度	6,450
令和 5 年度	6,593
令和 6 年度	6,548
令和 7 年度	7,189

年間行事

病院行事委員会にて地域に向けた精神医療への理解のための取り組みとして夏祭り、文化祭を提供している。

生療委員会にて、入院者及びデイケア利用者に季節感を体験する場として花見、クリスマス会を行っている。

ウ 訪問看護事業

ノーマライゼーション理念（障害者が障害のない者と同等に生活し、活動する社会を目指すこと）の広がりとともに、訪問看護の必要性が急速に社会的に認められるようになった。外来患者及び退院前患者も対象として、地域での自立した生活を援助している。

年度別 \ 区分	訪問延件数 (ACT含む)	内 訳	
		外 来 患 者	入 院 患 者
令和 3 年度	4,047 ^件	3,988 ^件	59 ^件
令和 4 年度	4,036	3,882	154
令和 5 年度	4,367	4,190	177
令和 6 年度	4,312	4,171	141
令和 7 年度	4,433	4,324	109

エ 希望会

県内の精神科病院、クリニック、保健所、作業所が協力して「希望会」を設立し、精神科医療・福祉サービスと、同サービスに携わる人たちが、スポーツ、文化交流を通じ、親睦を図ると共に心の健康についての知識を広め、当事者が社会参加をめざすことを目的に活動をしている団体である。当院は希望会に賛同し加入施設として協力をしている。

希望会年間スケジュール

4月	ソフトボール大会
6月	卓球大会
9月	作品バザー
10月	ゲートボール大会
12月	希望展

オ ACT

ACT(アクト/Assertive Community Treatment:包括型地域生活支援プログラム)は、重い精神障害をもつ人が、住み慣れた場所でその人が望む生活を実現できるように、さまざまな職種の専門家から構成されるチームで、アウトリーチによる支援を提供するプログラムである。

当院では、平成25年度よりACT準備チームとして活動を開始し、平成27年度より愛称を「ACTあいち」として本格的にチームでの活動を開始した。

現在、「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」が充実し、地域の支援体制も整ってきたこともあり、必要に応じた支援を実施している。その内容は、病気との付き合い方や薬を管理する方法などを一緒に考え、利用者に合わせた日常生活の支援や地域生活に必要な社会資源の紹介などを行っている。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
訪問延べ件数	1,925 件	1,900 件	1,796 件	1,678 件	1,841 件

カ 地域医療連携室

入院・通院・未受診の方からの相談に対し、主に精神保健福祉士が対応している。相談対象は、患者・家族・行政機関・医療機関・地域関係者などの多岐にわたる。相談方法は電話・面接が主で、必要に応じて訪問等のアウトリーチ支援も行っている。また院内の他職種で行うカンファレンスや地域関係者を交えたケース会議を実施し、積極的に地域での生活を支援している。

入通院別相談件数

	入院	通院	その他	合計
令和3年度	13,843 件	9,133 件	1,352 件	24,328 件
令和4年度	14,783	8,678	1,199	24,660
令和5年度	14,564	7,651	1,168	23,383
令和6年度	15,004	6,080	3,018	24,102
令和7年度	13,526	5,441	2,242	21,209

対象者別相談件数

	患者	家族	関係機関			その他	合計
			行政	医療	地域		
令和3年度	11,611 件	2,581 件	2,789 件	2,746 件	3,710 件	891 件	24,328 件
令和4年度	10,231	2,312	3,373	3,227	4,038	1,479	24,660
令和5年度	8,005	2,377	3,225	3,577	4,444	1,755	23,383
令和6年度	5,692	2,481	3,761	4,833	4,508	2,827	24,102
令和7年度	5,321	1,848	3,577	3,934	3,570	2,959	21,209

相談方法別相談件数

	電話	面接	訪問	代行	同行	カンファレンス・ケア会議	プログラム	その他	合計
令和3年度	16,871 ^件	3,965 ^件	684 ^件	25 ^件	59 ^件	1,184 ^件	408 ^件	1,187 ^件	24,328 ^件
令和4年度	16,927	3,888	616	6	38	1,626	171	1,388	24,660
令和5年度	14,659	4,078	740	9	32	1,963	221	1,681	23,383
令和6年度	12,970	4,442	721	3	70	3,182	208	2,506	24,102
令和7年度	10,740	3,547	844	2	52	3,519	287	2,218	21,209

相談内容別相談件数

	初診調整	入退院 受診調整	福祉制度	医療制度	経済	家族・地域 調整	心理 情緒的	施設・住居 調整	人権擁護	その他	合計
令和3年度	4,879 ^件	1,121 ^件	1,266 ^件	1,049 ^件	637 ^件	10,463 ^件	1,661 ^件	1,046 ^件	563 ^件	1,658 ^件	24,328 ^件
令和4年度	3,521	1,655	1,169	1,300	545	11,292	1,488	1,020	744	1,926	24,660
令和5年度	2,525	2,224	1,982	1,523	912	10,407	1,711	1,109	638	3,196	26,227
令和6年度	2,872	5,214	810	2,205	1,148	10,711	2,160	1,260	1,546	4,678	32,604
令和7年度	1,847	3,733	566	2,315	631	8,406	1,590	575	1,358	3,594	24,615

※相談内容は令和5年度から重複カウント

キ その他特殊な療法と活動

(ア) 生活技能訓練療法（SST）と認知行動療法（CBT）

SSTには、主として次の3種類の治療プログラムを実施している。①「基本訓練モデル」と呼ばれるもので、ロールプレイによって対人コミュニケーション技能を使って学習するものである。②特定の生活技能をSSTプログラムの技法を使って学習するものである。これには、「薬と症状を知るSST」と題して、SSTのモジュールを用いて、薬の効果や副作用および再発を早めに自覚時対処行動をとれるようになるための心理教育を行うものである。③「怒りのコントロール」は、怒りを自覚し、不利益なことにならない対処行動をとれるようになるためのSSTがある。

病棟、デイケアなど部署ごとに実施し、「基本訓練モデル」は主に西3、西4、東1、PDD・ADDグループ、「薬と症状を知るSST」は東3、「怒りのコントロール」は西2、デイケアのPDD・ADDグループ、東1では児童を対象に認知機能の強化を目的としたトレーニングを実施している。南病棟は、医療観察法の治療プログラムが展開されている。

西2では、アルコールや薬剤の依存症患者を対象とした物質使用障害治療プログラム（SMARP）に取り組み、西4では患者・スタッフミーティングを実施するなど、独自のプログラムを展開している。

治療プログラムの延べ参加人数（令和7年度）

部署・病棟名	参加延べ人数	主なプログラム
西2病棟	176 ^人	怒りのコントロール、SMARPなど
西3病棟	379	基本訓練モデル
西4病棟	565	基本訓練モデル、患者・スタッフミーティング
東1病棟	1,958	基本訓練モデル、コグトレなど
東2病棟	104	服薬モジュール、疾患教育
東3病棟	84	薬と症状を知るSST、基本訓練モデル
南病棟	594	基本訓練モデル、モチベーションプログラム、ストレス対処教室、やわらか頭など
デイケア	983	基本訓練モデル、怒りのコントロール
作業療法	291	やわらか頭、アンガーマネジメント
合計	5,008	

(イ) 統合失調症の家族のための勉強会（家族心理教育）

患者を抱える家族に、病気についての知識を伝え、同じ境遇の家族同士が話し合える場を提供することによって、家族の心理的ストレスを減少させ、ひいては再発の危険性を減少させることを目的としている。この勉強会は、3つのプログラムからなる。

基本コース：年度前半に、以下の表の内容で院内の多職種のスタッフが講義をし、その後ディスカッションをする。

	内 容
第 1 回	症状と経過について
第 2 回	治療について
第 3 回	リハビリテーションと看護について
第 4 回	病いを抱える人との付き合い方について
第 5 回	社会資源・社会福祉制度について
第 6 回	病いと共に生きる工夫について

集団ミーティング：基本コースを終了した家族が、その年度内だけ月に1回集まり、お互いに困っていることなどを話し合う。

各プログラムの延べ参加者数

	基本コース	集団ミーティング
令和元年度	63人	26人
令和2～5年度	コロナの影響により中断	
令和6年度	21	—
令和7年度	27	6

(ウ) アルコールの問題で困っている家族のための勉強会

患者を抱える家族に、病気についての知識を伝え、対処法を身につけてもらい、家族の心理的ストレスを減少させ、ひいては、患者に受診を促すためのコミュニケーション技法を身につけてもらうことを目的としている。講義とクラフトのワークを組み合わせた計7回で構成されている。年2クール開催。

	講 義	ワーク
第 1 回	なぜ飲まずにられないのか 本人にとってのメリットデメリット	状況をはっきりさせよう
第 2 回	アルコールは脳の病気 治療で回復否認について	安全第一
第 3 回	回復する脳と体	効果的なコミュニケーション
第 4 回	アルコールと栄養	望ましい行動を増やす方法
第 5 回	知って得する福祉の話	望ましくない行動を減らす方法 イネープリングをやめる
第 6 回	病いと共に生きる工夫について	家族が楽になる
第 7 回	アルコール依存症の回復・治療について	本人に治療を提案する

区分 \ 年度別	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
の べ 参 加 人 数	9 人	17 人	15 人	36 人

7. 患者の状況

(1) 入院患者数

区分 年度別	前年度末	当 年 度	新 入 院 種 別					当 年 度	当年度末
	在院患者数	新入院患者数	措 置	医療保護	任 意	応 急	その他	退院患者数	在院患者数
令和3年度	144 ^人	782 ^人	19 ^人	289 ^人	447 ^人	17 ^人	10 ^人	784 ^人	142 ^人
令和4年度	142	901	31	348	492	22	8	893	150
令和5年度	150	944	43	312	560	19	10	929	165
令和6年度	165	1,056	33	291	712	17	3	1,046	175
令和7年度	175	1,062	31	245	759	16	11	1,049	188

(2) 病床利用率

区分 年度別	入院患者 延 数	1日平均 患 者 数	利 用 率
令和3年度	51,379 ^人	140.8 ^人	51.6 [%]
令和4年度	57,092	156.4	57.3
令和5年度	63,364	173.1	63.4
令和6年度	66,927	183.4	67.2
令和7年度	69,493	190.4	69.7

(3) 平均在院日数・回転率

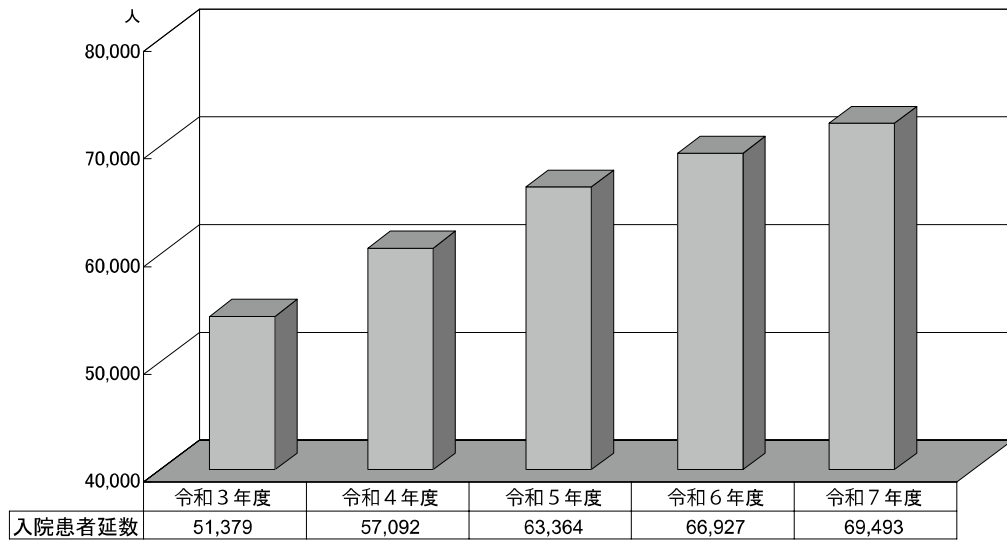
区分 年度別	平 均 在院日数	回 転 率
令和3年度	64.6 ^日	5.65 ^回
令和4年度	62.7	5.82
令和5年度	66.7	5.47
令和6年度	62.7	5.82
令和7年度	64.8	5.63

(4) 在院患者の入院形態別

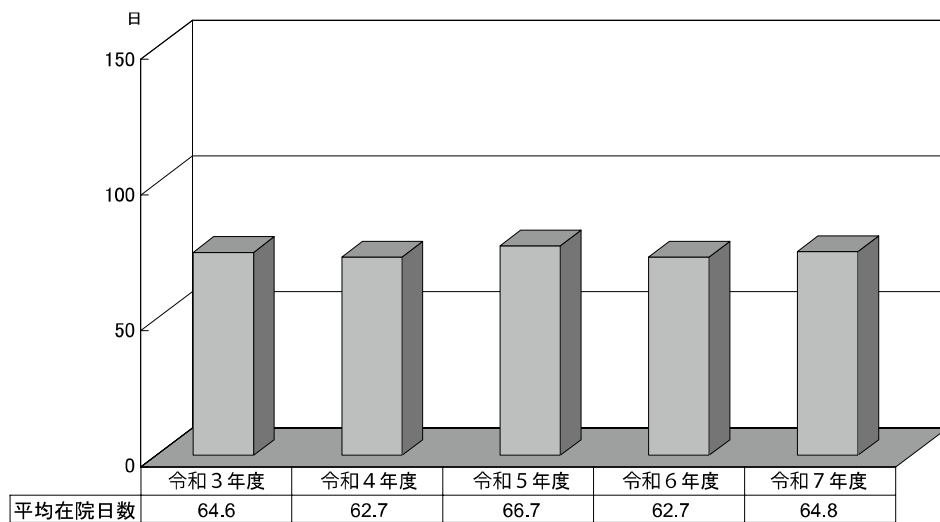
(年度末現在)

区分 年度別	在院患者総数	措 置	医療保護	任 意	応 急	そ の 他
令和3年度	142 人	11	68	46	0	17
	100 %	7.7	47.9	32.4	—	12.0
令和4年度	150 人	13	68	51	0	18
	100 %	8.7	45.3	34.0	—	12.0
令和5年度	165 人	8	71	68	0	18
	100 %	4.9	43.0	41.2	—	10.9
令和6年度	175 人	7	69	82	0	17
	100 %	4.0	39.4	46.9	—	9.7
令和7年度	188 人	8	68	96	0	16
	100 %	4.2	36.2	51.1	—	8.5

入院患者延数



平均在院日数



(5) 在院患者の在院期間

(年度末現在)

区 分		総 数	3 か 月 未 満	3か月以上 6か月未満	6か月以上 1年未満	1 ～ 2 年 未 満	2 ～ 3 年 未 満	3 ～ 4 年 未 満	4 ～ 5 年 未 満	5 ～ 10 年 未 満	10年以上
令和3年度	在院患者数	142人	80	15	9	11	6	4	1	8	8
	割 合	100 %	56.4	10.6	6.3	7.8	4.2	2.8	0.7	5.6	5.6
令和4年度	在院患者数	150人	87	9	14	17	5	5	1	6	6
	割 合	100 %	58.0	6.0	9.3	11.4	3.3	3.3	0.7	4.0	4.0
令和5年度	在院患者数	165人	86	20	19	15	10	3	2	4	6
	割 合	100 %	52.1	12.1	11.5	9.1	6.1	1.8	1.2	2.4	3.7
令和6年度	在院患者数	175人	94	21	19	15	9	6	2	4	5
	割 合	100 %	53.7	12.0	10.9	8.6	5.1	3.4	1.1	2.3	2.9
令和7年度	在院患者数	188人	112	22	18	11	9	6	3	3	4
	割 合	100 %	59.6	11.7	9.6	5.8	4.8	3.2	1.6	1.6	2.1

(6) 在院患者の病類別在院期間

(年度末現在)

区 分	総 数	割 合	3 か 月 未 満	3 か 月 以 上 6 か 月 未 満	6 か 月 以 上 1 年 未 満	1 ～ 2 年 未 満	2 ～ 3 年 未 満	3 ～ 4 年 未 満	4 ～ 5 年 未 満	5 ～ 10 年 未 満	10 年 以 上
症 状 性 を 含 む 器 質 性 精 神 障 害	4人	2.1%	3人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	0人
精神作用物質による 精神及び行動障害	5	2.7	5	0	0	0	0	0	0	0	0
統合失調症、統合失調型 障害及び妄想型障害	95	50.5	45	10	12	9	6	4	3	3	3
気 分（感 情）障 害	30	16.0	26	3	0	0	1	0	0	0	0
神経症性障害、ストレス関連 障害及び身体表現性障害	10	5.3	8	2	0	0	0	0	0	0	0
生理的障害及び身体的要因に 関連した行動症候群	2	1.1	1	0	1	0	0	0	0	0	0
成 人 の 人 格 及 び 行 動 の 障 害	3	1.6	2	0	0	1	0	0	0	0	0
精 神 遅 滞	12	6.4	6	1	3	0	1	0	0	0	1
心 理 的 発 達 の 障 害	19	10.1	10	4	2	1	0	2	0	0	0
小児期及び青年期に通常発症する行動 及び情緒の障害及び特定不能の精神障害	7	3.7	5	2	0	0	0	0	0	0	0
て ん か ん	1	0.5	1	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	188	100	112	22	18	11	9	6	3	3	4

(7) 在院患者の病類、年齢、男女別

(年度末現在)

病類別	総 数			20歳未満	20～40歳 未 満	40～65歳 未 満	65歳以上
	男	女	計				
症 状 性 を 含 む 器 質 性 精 神 障 害	1 人	3 人	4 人	1 人	0 人	2 人	1 人
精神作用物質による 精神及び行動障害	4	1	5	2	0	2	1
統合失調症、統合失調型 障害及び妄想型障害	57	38	95	20	5	47	23
気 分 (感 情) 障 害	10	20	30	8	9	8	5
神経症性障害、ストレス関連 障害及び身体表現性障害	0	10	10	3	6	1	0
生理的障害及び身体的要因に 関連した行動症候群	0	2	2	1	0	1	0
成 人 の 人 格 及 び 行 動 の 障 害	1	2	3	1	0	1	1
精 神 遅 滞	7	5	12	5	3	3	1
心 理 的 発 達 の 障 害	11	8	19	8	7	4	0
小児期及び青年期に通常発症する行動 及び情緒の障害及び特定不能の精神障害	5	2	7	1	6	0	0
て ん か ん	0	1	1	1	0	0	0
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0
計	96	92	188	51	36	69	32
割 合	51.1 %	48.9 %	100 %	27.1 %	19.2 %	36.7 %	17.0 %

(8) 在院患者の医療費負担別

(年度末現在)

費用別	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	患者数	割 合	患者数	割 合	患者数	割 合	患者数	割 合	患者数	割 合
精神保健福祉法(措置)	11 人	7.7 %	13 人	8.7 %	8 人	4.9 %	7 人	4.0 %	8 人	4.2 %
生 活 保 護 法	13	9.2	18	12.0	19	11.5	20	11.5	18	9.6
社 会 保 険	30	18.3	35	23.3	36	21.8	46	26.3	59	31.4
国 民 健 康 保 険	52	36.6	44	29.3	63	38.2	63	36.0	56	29.8
後 期 高 齢 医 療	18	12.7	21	14.0	19	11.5	16	9.1	24	12.8
医 療 観 察 法	16	11.3	17	11.3	17	10.3	17	9.7	16	8.5
自 費	0	0.0	1	0.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0
そ の 他	2	4.2	1	0.7	3	1.8	6	3.4	7	3.7
計	142	100.0	150	100.0	165	100.0	175	100.0	188	100.0

(9) 住所地別在院患者

(年度末現在)

年度別 \ 区 分	総 数	名古屋	尾 張	西三河	東三河	他府県	不 明
令 和 3 年 度	142人	86人	35人	8人	4人	4人	5人
令 和 4 年 度	150	100	32	12	1	5	0
令 和 5 年 度	165	101	43	10	3	3	5
令 和 6 年 度	175	122	39	4	2	5	3
令 和 7 年 度	188	125	43	14	1	5	0

(10) 退院患者の在院期間

年度別 \ 区 分		総 数	3か月未満	3か月以上6か月未満	6か月以上1年未満	1～2年未満	2～3年未満	3～4年未満	4～5年未満	5～10年未満	10年以上
令和3年度	患者数	784人	688	55	23	10	4	1	2	0	1
	割 合	100%	87.8	7.0	2.9	1.3	0.5	0.1	0.3	0	0.1
令和4年度	患者数	893人	793	57	23	9	3	0	3	2	3
	割 合	100%	88.9	6.4	2.6	1.0	0.3	—	0.3	0.2	0.3
令和5年度	患者数	929人	829	57	20	14	2	3	1	2	1
	割 合	100%	89.3	6.1	2.2	1.5	0.2	0.3	0.1	0.2	0.1
令和6年度	患者数	1,046人	903	90	31	13	4	1	1	2	1
	割 合	100%	86.3	8.6	3.0	1.2	0.4	0.1	0.1	0.2	0.1
令和7年度	患者数	1,049人	899	87	35	15	4	3	3	2	1
	割 合	100%	85.7	8.3	3.3	1.4	0.4	0.3	0.3	0.2	0.1

(11) 退院患者の転帰

年度別 \ 区 分	総 数	寛 解	軽 快	未 治	死 亡	転 院	その他
令 和 3 年 度	784人	4人	717人	0人	3人	42人	18人
令 和 4 年 度	893	4	821	1	1	54	12
令 和 5 年 度	929	8	870	1	1	36	13
令 和 6 年 度	1,046	26	920	0	1	53	46
令 和 7 年 度	1,049	29	916	0	2	35	67

(12) 外来患者数

一般外来では完全主治医制をとっている。

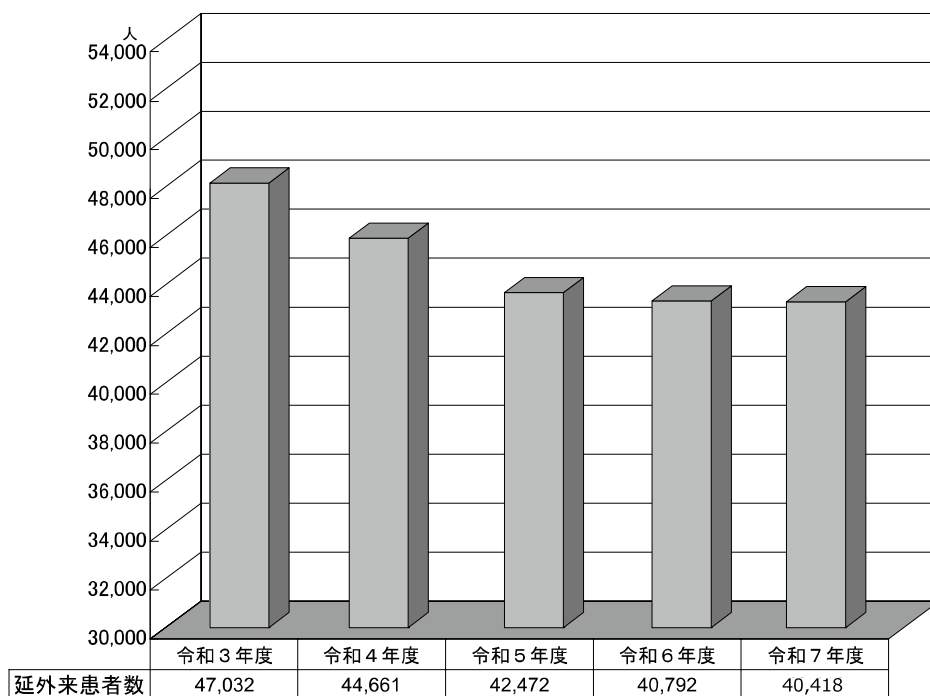
年度別 \ 区 分		総 数	精神科	内 科	歯 科	デイ・ケア科 (ナイトケア除く)	ナイト・ケアのみ
令和 3 年度	延 患 者 数	47,032人	30,946	250	553	15,013	270
	診 療 日 数	242日	242	123	49	242	48
	1 日平均患者数	194.3人	127.9	2.0	11.3	62.0	5.6
令和 4 年度	延 患 者 数	44,661人	29,226	164	562	14,532	177
	診 療 日 数	243日	243	110	53	245	48
	1 日平均患者数	183.8人	120.3	1.5	10.6	59.3	3.7
令和 5 年度	延 患 者 数	42,472人	27,825	158	527	13,685	277
	診 療 日 数	243日	243	109	65	243	50
	1 日平均患者数	174.8人	114.5	1.4	8.1	56.3	5.5
令和 6 年度	延 患 者 数	40,792人	25,982	141	553	13,929	187
	診 療 日 数	243日	243	104	50	244	50
	1 日平均患者数	167.9人	97.4	1.4	11.1	57.1	3.7
令和 7 年度	延 患 者 数	40,418 人	25,804	105	423	13,820	266
	診 療 日 数	242日	242	85	89	242	49
	1 日平均患者数	167.0人	102.8	1.2	4.8	57.1	5.4

(13) 外来入院患者比率

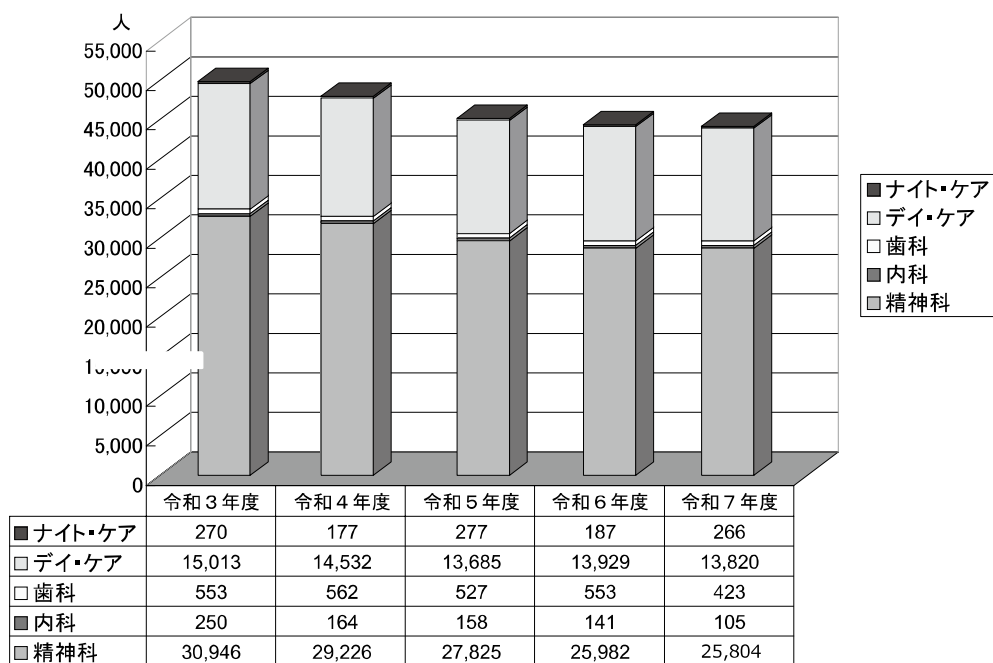
年度別 \ 区 分	延外来患者数	延入院患者数	外来入院患者比率
令和 3 年度	47,032 (51,020) 人	51,379 人	91.5 %
令和 4 年度	44,661 (48,543)	57,092	78.2
令和 5 年度	42,472 (46,662)	63,364	67.0
令和 6 年度	40,792 (44,963)	66,927	60.9
令和 7 年度	40,418 (44,742)	69,493	58.2

(注) 延外来患者数は訪問看護を含まない。() 内は訪問看護を含む数

延外来患者数



外来患者内訳



8. 業務の状況

(1) 検査

ア 一般臨床、生理検査件数

区分 年度別		総 数	一 般 臨 床 検 査						生 理 検 査		
			生化学	尿	血 液	薬 物 血中濃度	その他	計	心電図	脳 波	計
令和 3 年度	被検査者数	13,279	3,881	540	6,428	729	963	12,541	684	54	738
	項目数	82,413	50,940	5,191	23,770	740	1,034	81,675			
令和 4 年度	被検査者数	15,564	4,397	577	6,772	979	2,057	14,782	730	52	782
	項目数	89,658	55,234	5,567	24,806	1,169	2,100	88,876			
令和 5 年度	被検査者数	13,717	4,346	670	6,463	1,032	367	12,878	791	48	839
	項目数	90,700	56,739	6,590	24,521	1,546	465	89,861			
令和 6 年度	被検査者数	16,523	6,066	663	7,215	1,362	320	15,626	839	58	897
	項目数	94,826	57,782	6,875	26,975	1,887	410	93,929			
令和 7 年度	被検査者数	16,733	5,960	527	7,494	1,649	170	15,800	881	52	933
	項目数	94,945	57,879	5,545	28,063	2,237	288	94,012			

イ 放射線件数

区分 年度別	一般撮影	歯 科	C T	超音波	画像データ CD作成	他施設 画像データ 保存	計
令和 3 年度	773 件	68 件	519 件	12 件	48 件	54 件	1,474 件
令和 4 年度	783	105	439	7	32	62	1,428
令和 5 年度	811	103	558	12	39	48	1,571
令和 6 年度	900	98	575	1	63	97	1,734
令和 7 年度	887	98	468	0	62	92	1,607

ウ 心理検査件数

区分 年度別	人 格	知 能	精神作業他	計
令和 3 年度	282 件	255 件	955 件	1,492 件
令和 4 年度	225	228	848	1,301
令和 5 年度	242	225	1,031	1,498
令和 6 年度	271	194	931	1,396
令和 7 年度	329	246	1,030	1,605

(2) 薬剤

ア 調剤数

区分 年度別	総 数		入 院		外 来	
	処方箋枚数	調 剤 数	処方箋枚数	調 剤 数	処方箋枚数	調 剤 数
令和 3 年度	29,414 ^件	81,285 ^件	12,967 ^件	28,807 ^件	16,447 ^件	52,478 ^件
令和 4 年度	29,939	79,386	16,125	33,484	13,814	45,902
令和 5 年度	27,628	72,518	17,539	38,251	10,089	34,267
令和 6 年度	27,806	71,891	18,494	42,588	9,312	29,303
令和 7 年度	17,017	42,272	16,943	42,103	74	169

(注) 令和8年1月から入院処方箋は原則として用法毎の一包化に変更

イ 外来処方数

区分 年度別	院内処方箋 発行枚数	院外処方箋 発行枚数	院外処方率
令和 3 年度	16,447 ^枚	9,672 ^枚	37.03 %
令和 4 年度	13,814	10,853	44.00
令和 5 年度	10,089	13,564	57.35
令和 6 年度	9,312	15,172	61.97
令和 7 年度	74	21,458	99.66

ウ クロザリル（CPMSセンター）二次承認件数

年度別 区 分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
件 数	1,297 ^件	1,314 ^件	1,374 ^件	1,643 ^件	1,785 ^件

(3) 給食

ア 食数

区分 年度別	普通食	特 別 食		経管栄養	計
		加 算	非加算		
令和 3 年度	142,291 ^食	13,578 ^食	5,935 ^食	0 ^食	161,804 ^食
令和 4 年度	151,167	20,216	6,180	79	177,642
令和 5 年度	164,925	23,173	3,830	3	191,931
令和 6 年度	175,237	20,241	4,934	0	200,412
令和 7 年度	185,366	15,357	7,406	4	208,133

イ 栄養指導件数

年度別 区 分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
個別指導(件)	1 6 6 (3 0)	1 9 6 (4 2)	1 5 3 (4 1)	1 4 0 (3 2)	1 6 1 (2 8)
集団指導(件)	0 (5 4)	0 (4 0)	0 (9 0)	0 (8 2)	0 (8 4)

(注) () 内は算定外…作業療法プログラム他の件数

9. 経理状況

(1) 収益的収支の状況

(単位:円)

科 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
病院事業収益(A)	4,078,093,210	4,228,947,476	3,851,533,231	3,578,807,761	3,657,861,074
医 業 収 益(a)	2,094,963,952	2,174,299,613	2,321,339,807	2,360,779,670	2,335,885,211
入 院 収 益	1,479,548,152	1,615,624,904	1,762,731,849	1,833,321,298	1,914,805,390
外 来 収 益	528,449,663	497,502,085	465,988,638	457,622,600	354,557,138
一般会計負担金	73,840,000	49,380,000	74,131,000	49,543,000	44,400,000
その他医業収益	13,126,137	11,792,624	18,488,320	20,292,772	22,122,683
医業外収益(b)	1,983,129,258	2,054,647,863	1,530,193,424	1,218,028,091	1,321,975,863
受取利息配当金	0	0	0	0	0
一般会計負担金	856,539,000	865,730,000	860,350,000	895,081,000	933,417,000
一般会計補助金	870,888,000	935,333,300	359,274,000	955,000	11,235,000
国 庫 補 助 金	36,031,660	12,720,740	11,406,930	14,940,050	71,298,310
資本費繰入収益	147,563,000	167,411,000	214,195,000	218,240,000	218,325,000
長期前受金戻入	58,828,292	55,831,715	55,762,848	54,949,361	53,983,450
患者外給食収益	0	0	0	0	0
その他医業外収益	13,279,306	17,621,108	29,204,646	33,862,680	33,717,103
病院事業費用(B)	3,823,526,125	3,930,991,467	3,975,234,344	4,072,104,277	4,052,765,570
医 業 費 用(c)	3,629,843,707	3,732,476,189	3,779,332,952	3,874,718,570	3,863,787,715
給 与 費	2,319,662,632	2,350,178,944	2,431,327,159	2,519,575,649	2,579,632,247
材 料 費	270,312,074	273,365,893	255,964,954	244,906,306	161,691,363
経 費	555,706,462	629,012,676	615,878,281	635,301,381	649,001,313
減価償却費	480,089,042	473,341,473	469,434,774	467,053,569	466,182,903
資産減耗費	570,496	761,500	306,445	927,351	1,039,097
研究研修費	3,503,001	5,815,703	6,421,339	6,954,314	6,240,792
医業外費用(d)	193,682,418	198,515,278	195,901,392	197,385,707	188,977,855
支払利息及び 企業債取扱諸費	58,929,497	57,701,505	56,001,571	53,936,598	51,685,159
長期前払消費税償却	53,985,108	54,006,845	53,347,034	56,158,055	56,205,855
患者外給食材料費	0	0	0	0	0
雑 損 失	80,767,813	86,806,928	86,552,787	87,291,054	81,086,841
(経常損(△)益) {(a+b)-(c+d)}	254,567,085	297,956,009	△ 123,701,113	△ 493,296,516	△ 394,904,496
特 別 利 益	0	0	0	0	0
過年度損益修正益	0	0	0	0	0
その他特別利益	0	0	0	0	0
特 別 損 失	0	0	0	0	0
減損損失	0	0	0	0	0
その他特別損失	0	0	0	0	0
当年度純損(△)益 (A-B)	254,567,085	297,956,009	△ 123,701,113	△ 493,296,516	△ 394,904,496
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率	110.73% (105.61%)	108.09% (103.05%)	104.74% (99.75%)	106.73% (101.41%)	110.43% (104.02%)

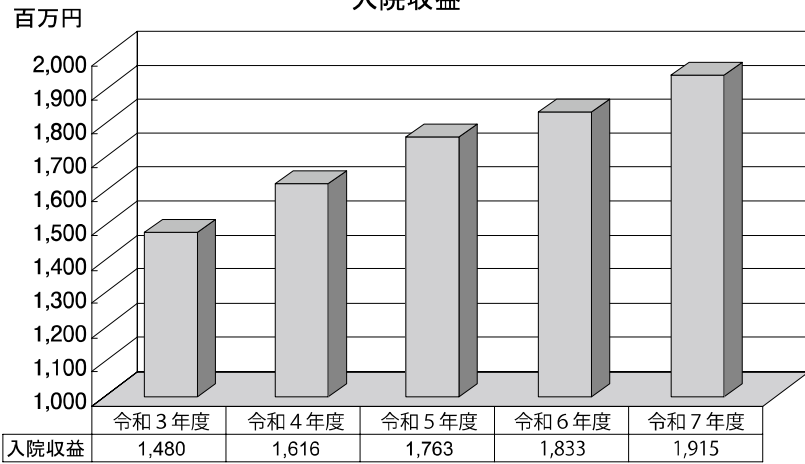
(注)職員給与費対医業収益比率の下段()は、退職金を除いた部分の比率を示す。

(2) 資本的収支の状況

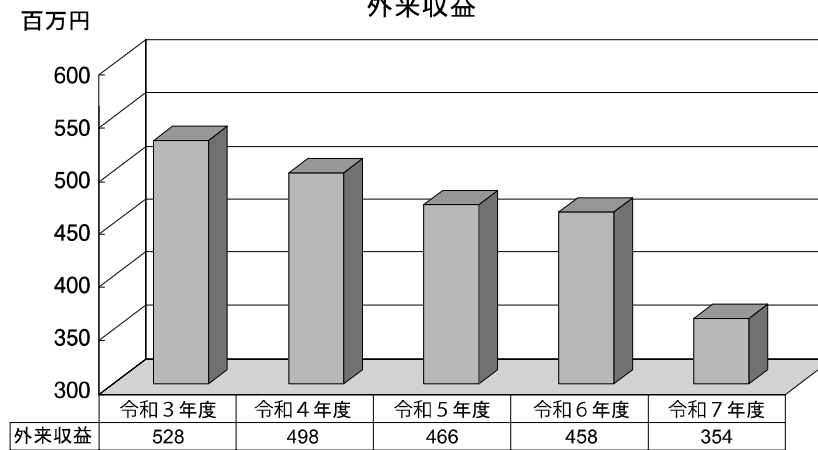
(単位:円)

科 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
資本的収入	158,042,000	174,323,700	245,827,000	231,440,000	303,625,000
企 業 債	7,300,000	6,300,000	31,500,000	13,200,000	85,300,000
企 業 債	7,300,000	6,300,000	31,500,000	13,200,000	85,300,000
他会計補助金	3,179,000	150,700	132,000	0	0
一般会計補助金	3,179,000	150,700	132,000	0	0
他会計負担金	147,563,000	167,411,000	214,195,000	218,240,000	218,325,000
一般会計負担金	147,563,000	167,411,000	214,195,000	218,240,000	218,325,000
国庫支出金	0	462,000	0	0	0
国庫負担金	0	0	0	0	0
国庫補助金	0	0	0	0	0
雑 収 入	0	0	0	0	0
雑 収 入	0	0	0	0	0
資本的支出	316,042,659	342,035,485	464,135,762	443,334,544	523,402,058
建設改良費	0	0	0	0	59,510,000
建 設 費	0	0	0	0	59,510,000
工事請負費	0	0	0	0	59,510,000
委 託 費	0	0	0	0	0
その他建設諸費	0	0	0	0	0
改 良 費	0	0	0	0	0
工事請負費	0	0	0	0	0
委 託 費	0	0	0	0	0
資産購入費	100,852,495	87,148,970	116,458,947	91,474,394	104,040,464
医療器械購入費	15,095,135	6,972,130	33,818,400	13,213,200	26,081,000
備品購入費	5,822,300	0	2,280,230	301,730	0
リース債務費	79,935,060	80,176,840	80,360,317	77,959,464	77,959,464
企業債償還金	215,190,164	254,886,515	347,676,815	351,860,150	359,851,594
企業債償還金	215,190,164	254,886,515	347,676,815	351,860,150	359,851,594
留 保 資 金 充 当 額	158,000,659	167,711,785	218,308,762	211,894,544	219,777,058

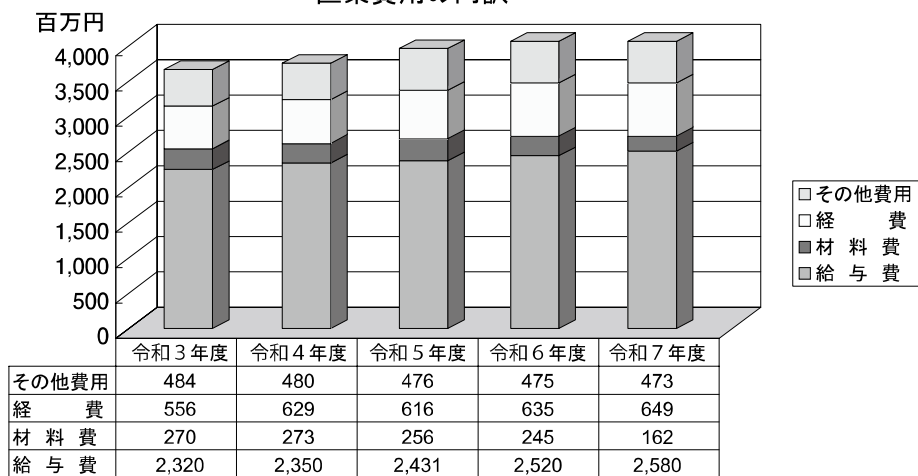
入院収益



外来収益



医業費用の内訳



10. 類似病院との比較

イ 精神医療センター

(単位：千円)

項 目	愛知県	順位	新潟県	三重県	京都府	宮城県	神奈川県	静岡県
	精 神 医 療 セ ン タ ー		精 神 医 療 セ ン タ ー	こ ころ の 医 セ ン タ ー	洛 南 病 院	精 神 医 療 セ ン タ ー (独 立 行 政 法 人)	精 神 医 療 セ ン タ ー (独 立 行 政 法 人)	こ ころ の 医 療 セ ン タ ー (独 立 行 政 法 人)
事 業 開 始 年 月 (開設許可年月日等)	S7.12.6		S30.11.1	S25.3.25	S20.6.1	S32.4.12	S4.3.6	S31.11.1
病 床 数	273	3	400	318	256	258	323	274
1 0 0 床 当 た り 損 益 計 算 書	総 収 益	4	769,580	929,930	1,036,578	1,131,173	1,638,336	1,027,393
	医 業 収 益	5	267,363	616,752	647,795	1,125,091	1,600,674	1,024,650
	入 院 収 益	4	216,956	449,812	505,515	568,491	863,855	517,873
	外 来 収 益	4	47,654	93,157	126,051	131,576	143,692	92,530
	他 会 計 負 担 金	5	0	65,861	14,231	373,433	511,582	393,857
	そ の 他 収 益	4	2,753	7,922	1,998	51,591	51,545	20,390
	医 業 外 収 益	3	502,216	313,178	384,553	5,927	37,662	2,720
	受取利息配当金	4	9	155	224	0	76	338
	国 庫 補 助 金	3	33	384	245	0	0	0
	他 会 計 補 助 ・ 負 担 金	3	444,863	266,394	379,660	2,701	8,532	303
	そ の 他 収 益	3	57,311	46,245	4,424	3,226	29,054	2,079
	特 別 利 益	5	1	0	4,230	155	0	23
	総 費 用	4	792,269	1,109,564	1,036,019	1,212,969	1,611,880	1,072,427
	医 業 費 用	4	767,775	1,075,953	1,002,812	1,209,183	1,592,491	1,065,423
	職 員 給 与 費	6	555,206	735,221	728,298	844,834	1,125,028	619,789
	材 料 費	4	29,732	58,737	74,370	57,717	104,360	41,063
	減 価 償 却 費	6	60,112	64,885	31,326	56,097	132,837	95,186
	研 究 研 修 費	1	1,158	3,392	2,175	3,527	2,007	3,230
	そ の 他 費 用	7	121,567	213,718	166,643	247,008	228,259	306,155
	医 業 外 費 用	5	24,494	33,611	28,977	3,786	19,185	5,619
	支 払 利 息	6	12,734	8,974	3,105	3,323	17,249	616
	そ の 他 費 用	4	11,760	24,637	25,872	463	1,936	5,003
	特 別 損 失	6	0	0	4,230	0	204	1,385
	経常利益(損失(△))	1	△ 22,690	△ 179,634	559	△ 81,951	26,660	△ 43,672
	当年度純利益(損失(△))	1	△ 22,689	△ 179,634	559	△ 81,796	26,456	△ 45,034
	他 会 計 負 担 金 合 計	3	444,863	332,255	393,891	376,134	550,114	394,160

診療行為別収入

(単位：円)

1人1日入院診療収入	投 薬 収 入	661	2	695	659	312	652	20	645
	注 射 収 入	220	3	179	120	274	227	0	98
	処置及び手術収入	6	7	26	17	32	10	17	24
	検 査 収 入	81	6	187	216	390	81	179	166
	放 射 線 収 入	28	6	33	31	37	14	101	48
	入 院 料	23,375	3	7,994	15,490	24,520	20,484	25,168	22,035
	入院時食事療養収入	1,778	6	1,962	2,014	2,181	2,723	1,736	1,789
	そ の 他 収 入	1,243	5	8,139	1,684	1,347	857	1,403	1,217
	計	27,392	3	19,215	20,231	29,093	25,048	28,624	26,022
1人1日外来診療収入	初 診 料	46	6	58	49	63	54	103	20
	再 診 料	721	5	924	717	872	716	1,028	771
	投 薬 収 入	2,126	2	5	553	2,724	154	20	37
	注 射 収 入	1,958	2	867	698	757	2,088	4	957
	処置及び手術収入	68	2	746	0	0	0	33	47
	検 査 収 入	207	6	476	503	587	163	817	301
	放 射 線 収 入	37	5	61	132	139	13	149	35
	そ の 他 収 入	5,016	4	5,756	4,187	4,482	5,337	6,751	4,233
	計	10,179	1	8,893	6,839	9,624	8,525	8,905	6,401

(参 考)

DPC実施時期	—		—	—	—	—	—	—
看護体制	13 : 1		15 : 1	15 : 1	15 : 1	15 : 1	15 : 1	15 : 1

項 目		愛知県	順位	新潟県	三重県	京都府	宮城県	神奈川県	静岡県
		精神医療 センター		精神医療 センター	こころの 医療 センター	洛南病院	精神医療 センター (独立行政法人)	精神医療 センター (独立行政法人)	こころの医療 センター (独立行政法人)
※稼 状 況	病 床 利 用 率 (%)	67.2	2	30.9	60.9	47.6	62.2	82.7	54.5
	平均在院日数 (一般) (日)	-	-	-	-	-	-	-	-
	1 日 平 均 外 来 患 者 数 (人)	185	2	88	178	138	164	214	163
	外 来 入 院 患 者 比 率 (%)	67.2	-	47.5	61.2	75.4	68.0	53.5	72.6
収 入 状 況	入 院 患 者 1 人 1 日 当 たり 診 療 収 入 (円)	27,392	3	19,215	20,231	29,093	25,048	28,624	26,022
	外 来 患 者 1 人 1 日 当 たり 診 療 収 入 (円)	10,179	1	8,893	6,839	9,624	8,525	8,905	6,401
	医 師 1 人 1 日 当 たり 診 療 収 入 (円)	330,345	1	322,203	306,631	192,592	324,384	233,590	215,362
	看 護 職 員 1 人 1 日 当 たり 診 療 収 入 (円)	34,298	3	21,641	31,187	36,508	32,825	36,005	32,739
	検 査 技 師 年 間 1 人 当 たり 検 査 収 入 (千円)	3,682	2	622	1,235	1,853	5,616	-	-
	放 射 線 技 師 年 間 1 人 当 たり 放 射 線 検 査 収 入 (千円)	3,534	2	-	792	210	-	17,617	-
	1 病 床 当 たり 他 会 計 繰 入 金 額 (千円)	4,334	5	4,449	3,323	3,939	3,761	5,501	3,942
※繰 入 金 の 状 況	他 会 計 繰 入 金 対 総 収 益 (%)	32.9	1	57.8	35.7	38.0	33.3	33.6	38.4
※	他 会 計 繰 入 金 対 経 常 収 益 (%)	32.9	1	57.8	35.7	38.2	33.3	33.6	38.4
※経 営 状 況	経 常 収 支 比 率 (%)	87.4	6	97.1	83.8	100.1	93.2	101.7	95.9
	医 業 収 支 比 率 (%)	60.7	5	34.8	57.3	64.6	93.0	100.5	96.2
	修 正 医 業 収 支 比 率 (%)	59.0	5	34.8	51.2	63.2	62.2	66.5	59.2
	職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 (%)	105.0	4	207.7	119.2	112.4	75.1	70.3	60.5
	減 価 償 却 費 対 医 業 収 益 (%)	19.6	6	22.5	10.5	4.8	5.0	8.3	9.3
	病 床 1 0 0 床 当 たり 実 質 損 益 (千円)	△ 622,562	7	△ 467,552	△ 511,889	△ 393,332	△ 457,930	△ 523,658	△ 439,194
	病 床 1 0 0 床 当 たり 純 利 益 (△) 純 損 失 (千円)	△ 189,193	7	△ 22,689	△ 179,634	559	△ 81,796	26,456	△ 45,034
	病 床 1 0 0 床 当 たり 概 算 キャッシュフロー発生額 (千円)	2,799	5	37,670	△ 113,826	31,972	△ 25,699	159,293	50,241
	支 払 利 息 対 医 業 収 益 (%)	2.3	6	4.8	1.5	0.5	0.3	1.1	0.1
	病 床 1 0 0 床 当 たり 医 師 数 (人)	7.0	4	2.3	5.0	10.5	5.4	10.8	8.0
※	病 床 1 0 0 床 当 たり 看 護 部 門 職 員 数 (人)	67.0	6	33.5	49.7	47.7	53.9	86.7	51.5
※	病 床 1 0 0 床 当 たり 事 務 部 門 職 員 数 (人)	16.1	7	4.5	10.1	4.7	7.8	6.5	13.1
※	病 床 1 0 0 床 当 たり 放 射 線 部 門 職 員 数 (人)	0.4	6	0.0	0.3	1.2	0.0	0.3	0.0
※	病 床 1 0 0 床 当 たり 臨 床 検 査 部 門 職 員 数 (人)	1.5	7	0.8	0.9	0.8	0.8	0.0	0.0
※	病 床 1 0 0 床 当 たり 全 職 員 数 (人)	97.4	6	57.8	76.4	80.5	86.8	117.3	84.7
職 員 の 状 況	職 員 平 均 年 齢 (歳)	45.7	3	48.1	44.9	50.5	44.9	45.0	41.3
	医 師 1 人 当 たり 平 均 給 与 月 額 (円)	1,526,732	1	1,097,713	1,324,599	791,914	1,265,838	883,388	1,393,822
	看 護 師 1 人 当 たり 平 均 給 与 月 額 (円)	678,746	1	622,409	570,995	605,393	530,521	584,971	516,594
	そ の 他 医 療 技 術 員 1 人 当 たり 平 均 給 与 月 額 (円)	408,975	7	597,625	554,228	489,614	505,460	435,439	523,592
	事 務 職 員 1 人 当 たり 平 均 給 与 月 額 (円)	664,680	2	516,015	450,917	672,938	510,218	580,352	483,521
	1 床 当 たり 固 定 資 産 額 (償 却 資 産) (千円)	26,191	1	7,798	9,301	4,214	4,542	13,161	10,242
	施 設 設 備								

注：類似病院の計数は、「令和6年度地方公営企業決算の状況」報告値を愛知県が独自に集計・分析したもの。

注：左枠外に※印のある項目は、順位が小さい順となっている。

11. 院内研修教育活動の状況

(1) 合同リサーチの開催状況

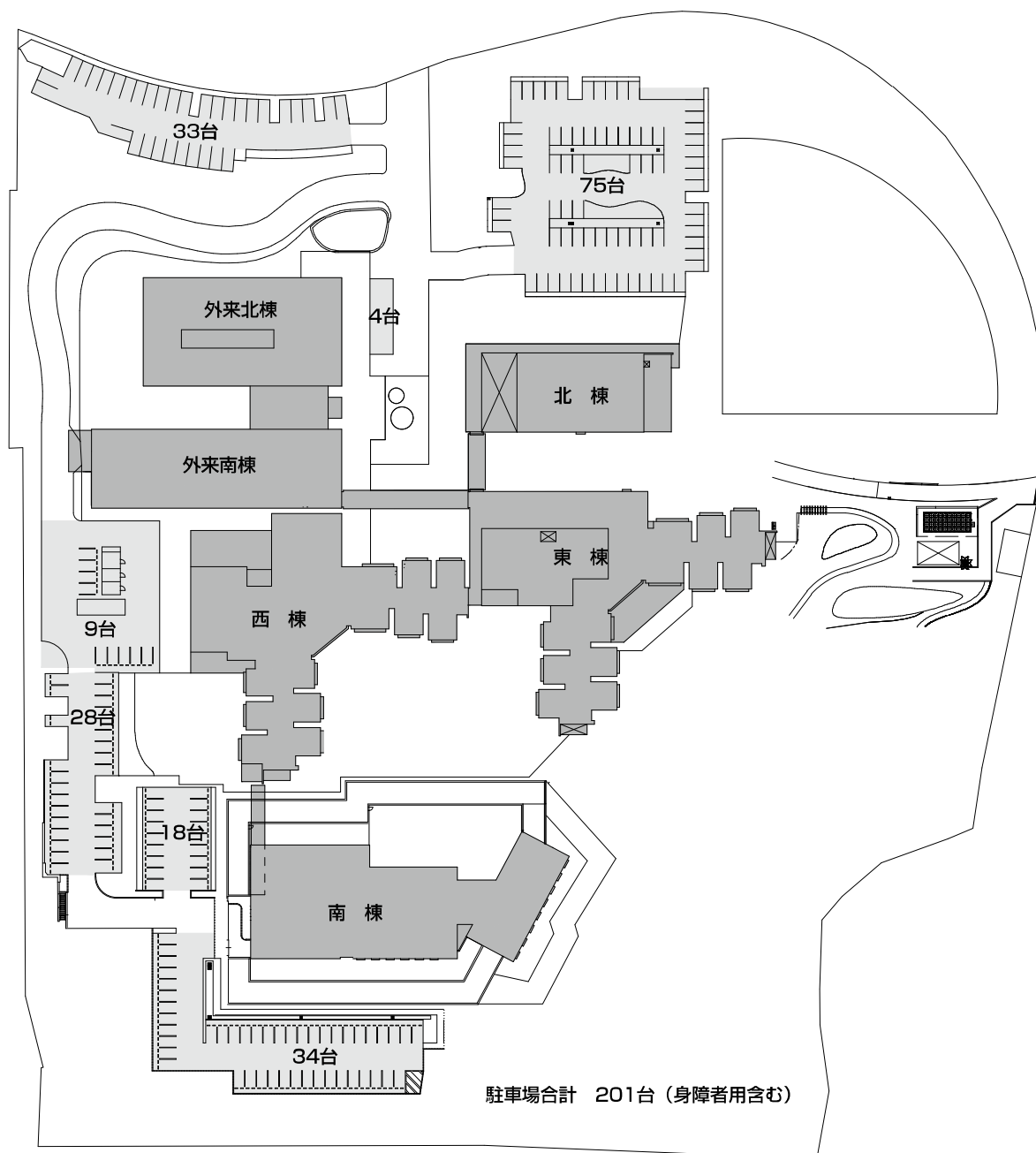
実施月	テーマ	発表部門
2025 年 6 月	ACT の概要と活動内容	ACT
2025 年 7 月	長期入院患者の退院促進・患者参画型の看護～オープンダイアログを通して～	東 3 病棟
2025 年 9 月	多組織が協働する子供の司法精神医学	医局
2025 年 11 月	「MDT 振り返りシート」の導入	南病棟
2025 年 12 月	研究検査科の業務	検査部
2026 年 2 月	定期カンファレンスにおける患者参画の試み	西 2 病棟
2026 年 3 月	アンケート調査から見えた地域の課題と「連携」における課題	地域医療連携室

(2) 職場研修

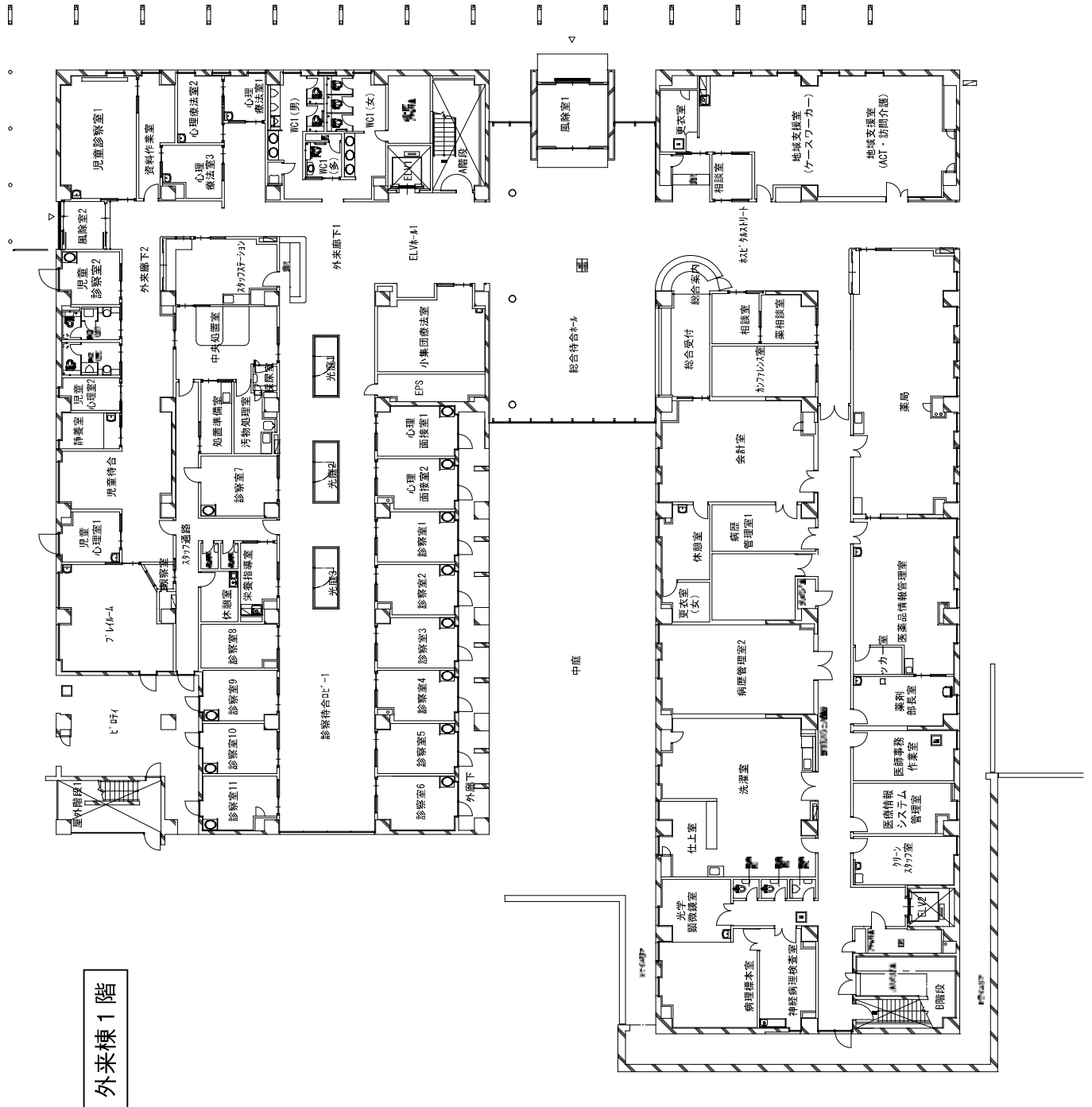
対 象	研 修 名	目 的
【 職 員 研 修 】		
新規採用者・転入者	新任職員研修	精神科医療の概要と各部門の業務を理解する
全職員	救急研修	救急時の対応と実践を学び、安全かつ効果的に救急対応ができる
	医療安全研修	組織的かつシステムの事故の予防に取り組み、患者の安全・安心を確保し、同時に職員の安全も守り、安全性を向上させる
	感染対策研修	院内感染予防に関する手段や知識を身につけ、患者や職員を感染から守る
	接遇研修	医療従事者として必要な接遇を身につけ、医療サービスの向上をはかる
	虐待防止研修	虐待のない医療現場であるために、正しい理解と意識の向上を図る
	行動制限最小化研修	基本的人権を尊重し、行動制限を最小限に抑えるための知識と技術を学ぶ
【 看 護 部 研 修 】		
新規採用者・転入者	新規採用者職員研修	愛知県精神医療センターの概要が理解でき組織の一員と自覚を持つ専門職業人として、知識、技術、姿勢を学び、職場に早く適応できる
	精神看護：セルフケア理論Ⅰ（くらしと心理的反応）	セルフケア理論を理解し、看護展開を説明できる
	精神看護：セルフケア理論Ⅰ（精神症状と薬物療法）	セルフケア理論を理解し、看護展開を説明できる
	CVPPPⅠ	包括的暴力防止プログラムを学習し、安心安全で効果的な援助方法を学ぶ
	身体的拘束（実技）	倫理的配慮を主眼におき、正しい知識と技術で安全で安楽な身体的拘束が実践できる
2 年 目	精神看護Ⅱ：ケーススタディⅠ	エビデンスを用いて論理的に看護実践を述べることができる
	固定チームナースⅡ	日々のリーダーの役割を理解し、メンバーを総括しながらチームをマネジメントできる
	CVPPPⅡ	継続した包括暴力防止プログラムの学習により、患者と看護師がともに安心・安全で効果的な関わり方法を学ぶ
3 年 目	精神看護Ⅲ：ケーススタディⅡ	セルフケア理論を用い、看護を展開し知識の統合を図る
ラダーⅡ以上	CVPPPⅢ	理念を中心としたCVPPPの知識・技術の再学習
	精神看護 アドバンス	セルフケア理論を深め、看護計画に結び付け看護実践を行う
	聴くを知る（傾聴研修）	精神科看護師としての対話スキルを向上できる
	もう一度「倫理」を考える	日々の仕事における倫理的課題を発見し、多様な価値観を知る
	フィジカルアセスメント	精神障がいを持つ患者の特徴を踏まえたフィジカルアセスメントができる

ラダーⅢ以上	精神看護 アドバンス (精神症状と心理的反応)	セルフケア理論を深め、看護計画に結び付けられる
	精神看護 アドバンス (薬物療法とフィジカルアセスメント)	薬物療法と身体的反応を結び付けられる
クリニカルラダー Ⅱ以上	看護管理基礎	業務改善に焦点を当てたマネジメント能力を養う
クリニカルラダー Ⅲ以上	看護管理応用	経営的視点で看護管理を学び、看護サービス向上のためのマ ネジメント能力を養う
臨地実習指導者を 初めて担う者	臨地指導者研修	臨地実習指導者に求められる役割を理解し、効果的な精神科 実習指導ができる能力を養う
前年度臨地実習 指導者研修を 受講したもの	臨地実習指導者フォローアップ	臨地実習指導のスキルや知識が向上し、効果的な実習指導を 行う
全看護師	伝達講習	スキルアップ研修の学びを多くのスタッフと共有する事で、 更に学びを深める
主 任	主任研修	主任の役割を知り、看護実践の役割モデルを果たす
副師長	面接技法 (キャリア・動機づけ)	スタッフが問題解決しモチベーションが上がる面接技法を学 ぶ
師長・副師長	看護管理研修	看護管理者の資質と看護の水準の維持・向上をめざす
看護助手	看護助手研修	精神科疾患患者の特性を理解し業務に活かす

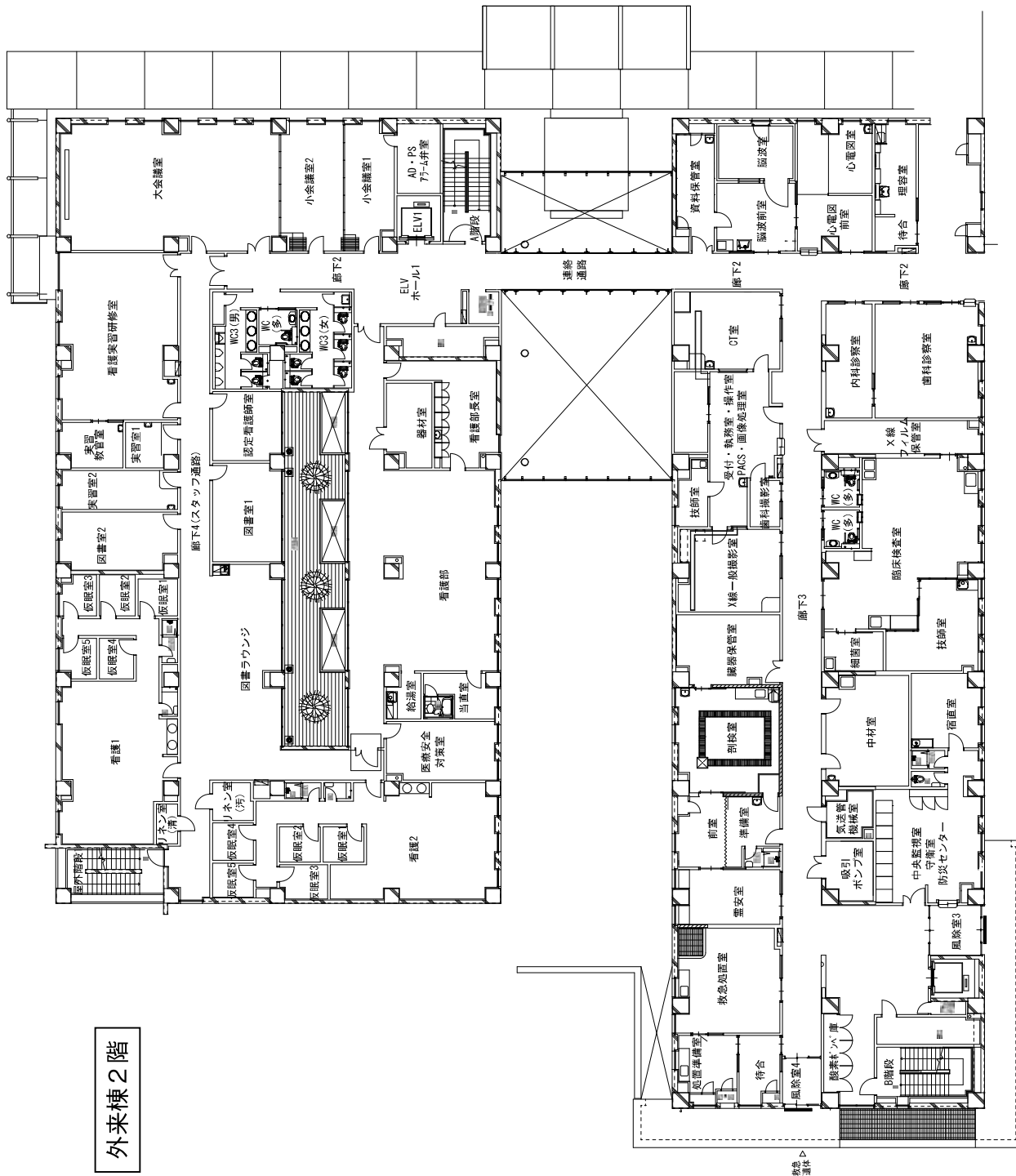
12. 精神医療センター配置図（令和8年4月1日現在）



13. 建物別平面図

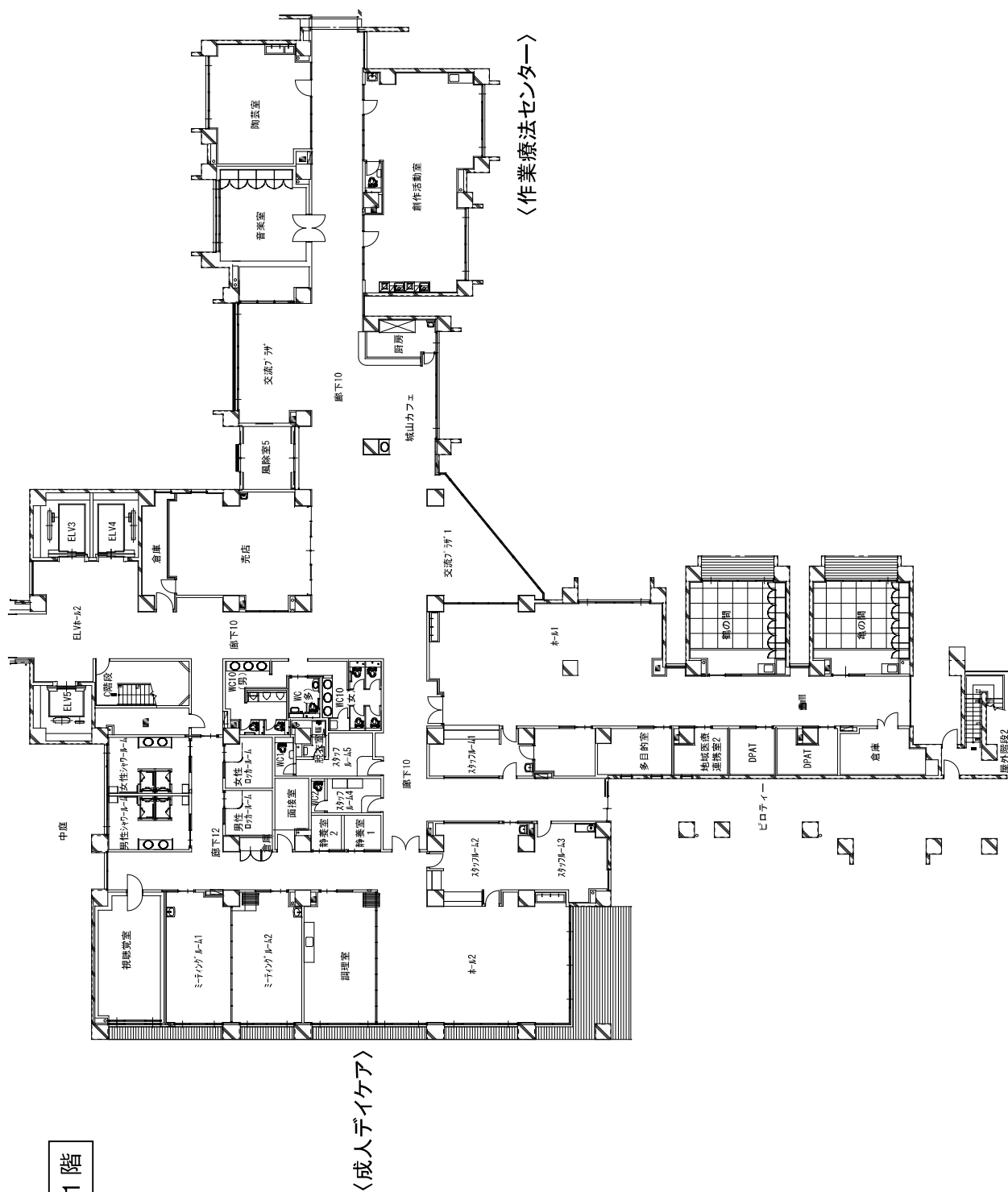


外来棟 2階

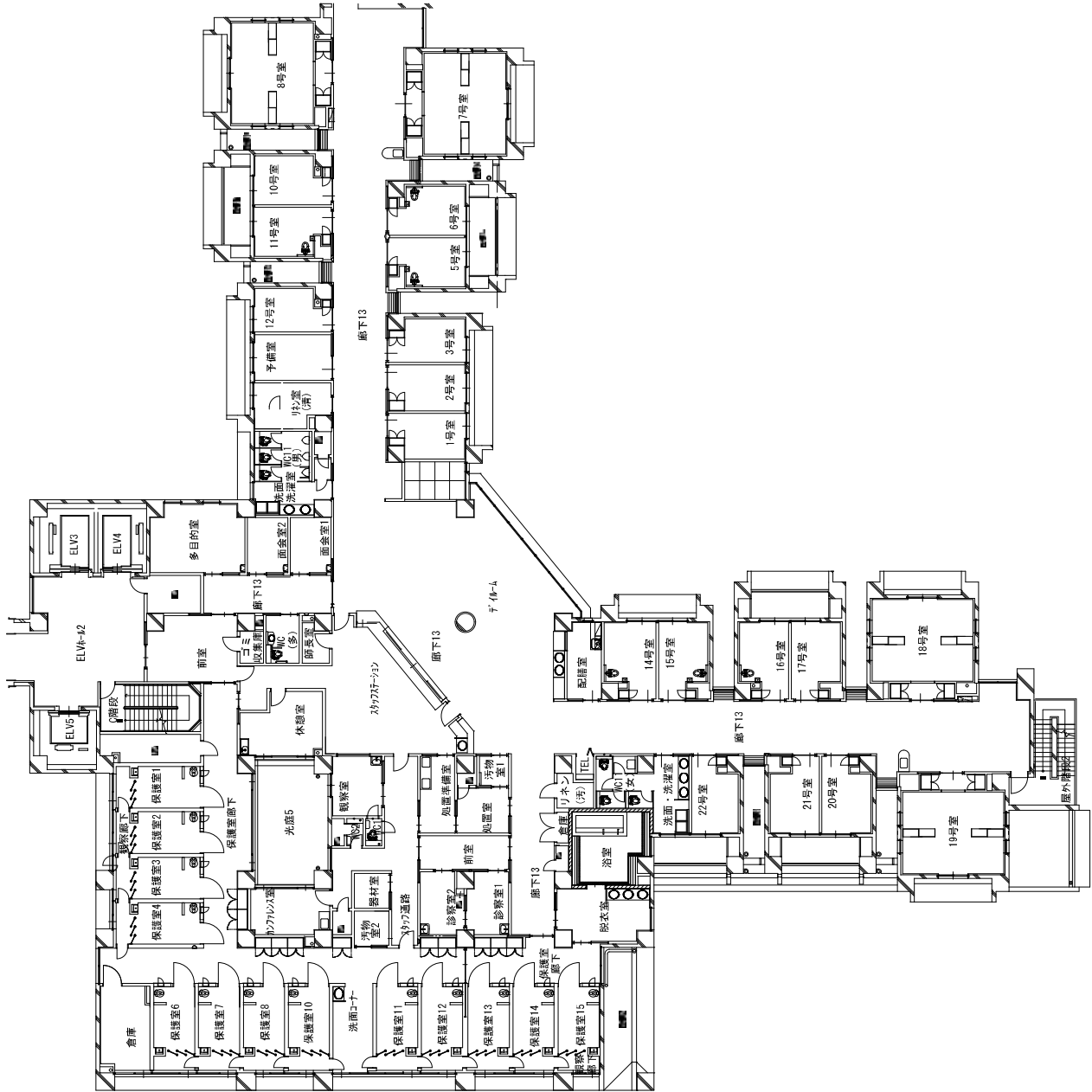


[illegible]

西棟1階

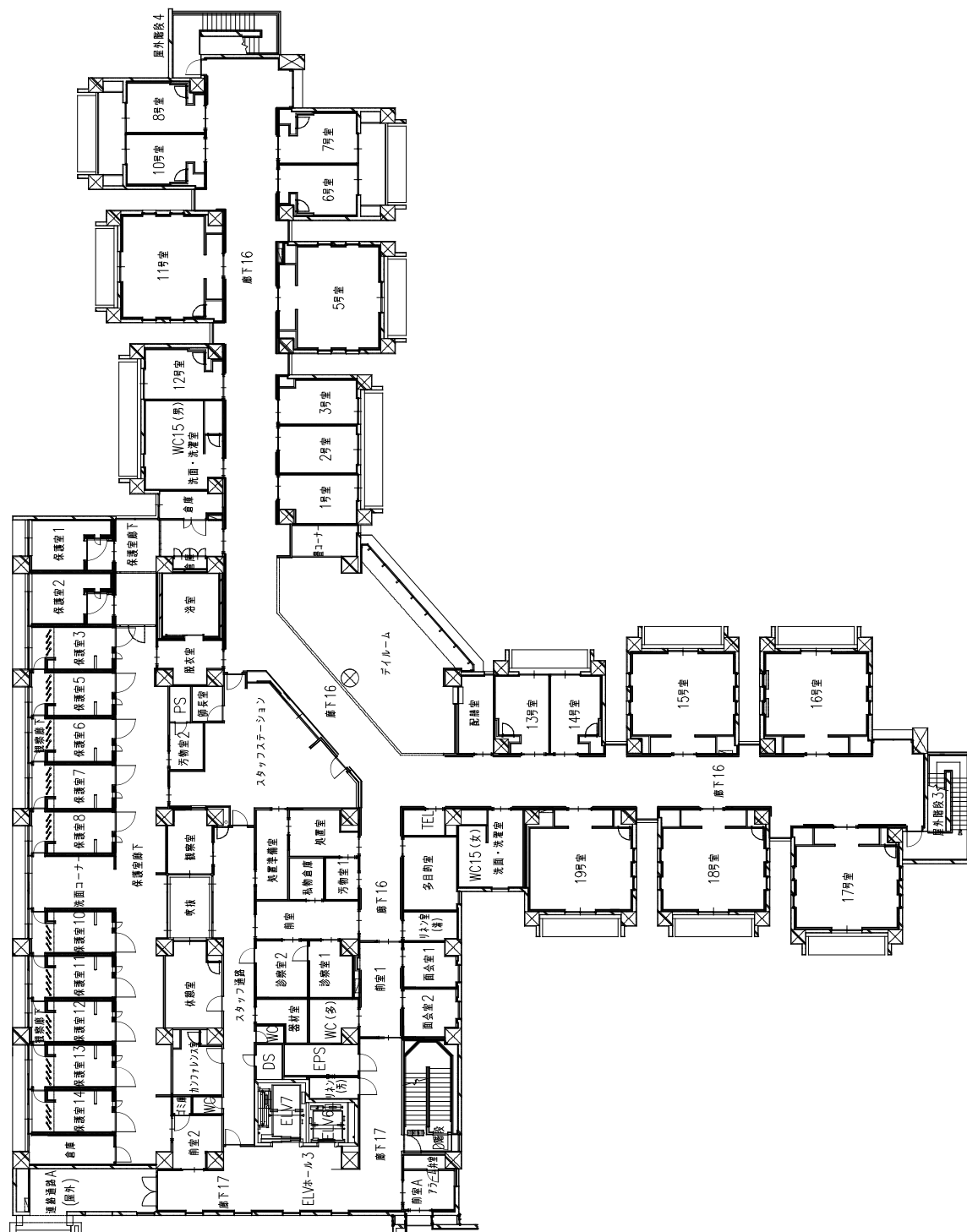


西棟2階
(西2病棟)

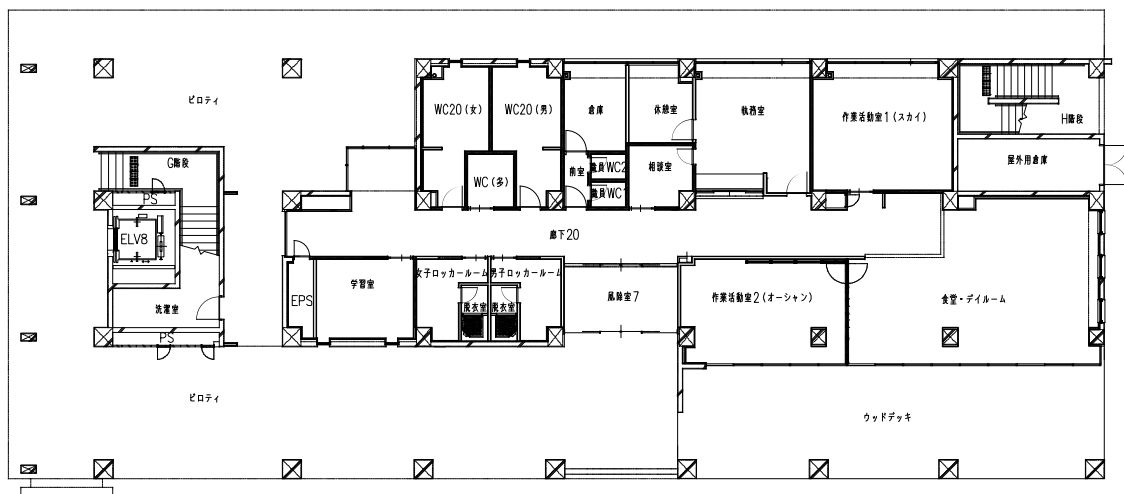


[illegible]

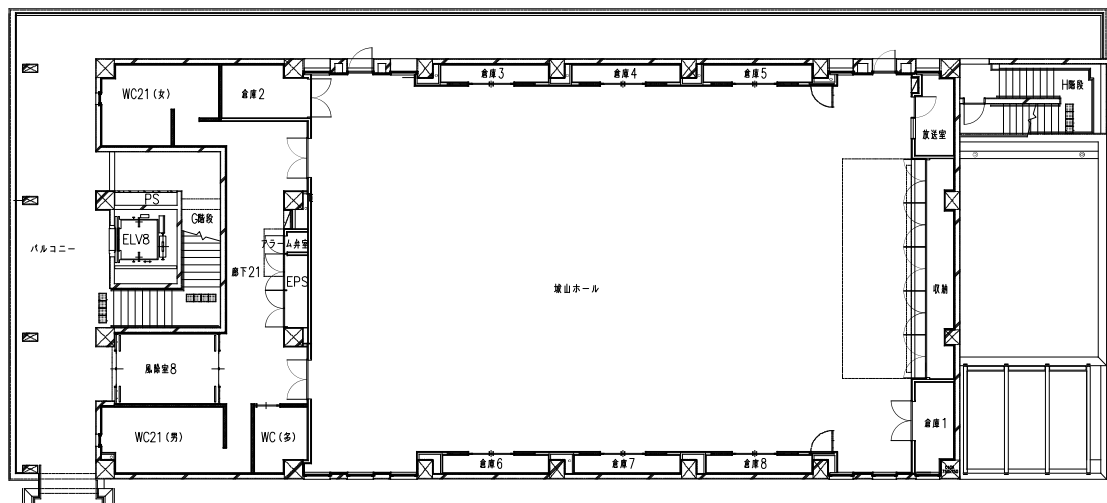
東棟3階
(東3病棟)



北棟1階



北棟2階 (城山ホール)



14. 案 内

診 療 案 内

診療科名：精神科・児童精神科・内科・歯科

受付時間：新 患 午前9時～午前11時・午後1時～午後3時（予約制）

再 来 午前9時～午前11時（予約制）

夜間外来 毎週火曜日 午後5時～午後7時（予約制）

案 内 図



公共交通機関をご利用の場合

地下鉄	名城線・自由ヶ丘で下車し、南へ徒歩5分 東山線／名城線・本山で下車し、北へ徒歩30分
市バス	県精神医療センターで下車
	自由ヶ丘二丁目で下車し、東へ徒歩5分
	自由ヶ丘三丁目で下車し、東南へ徒歩10分

自家用車をご利用の場合

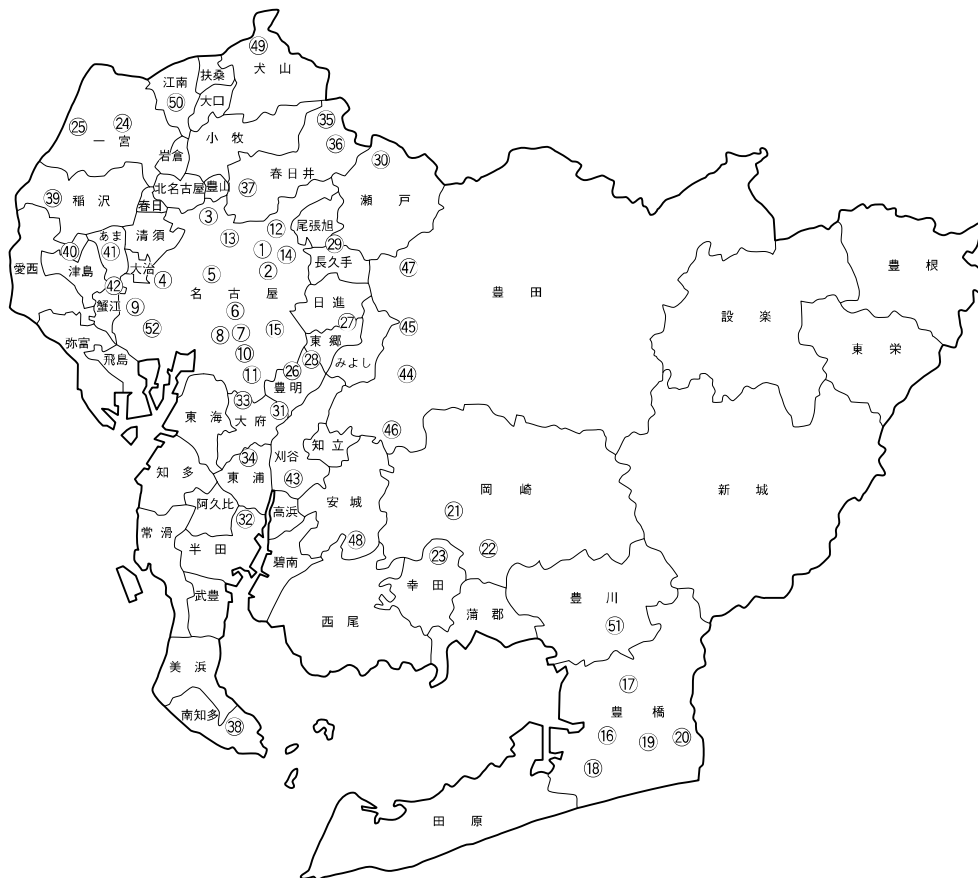
■ 栄・名古屋駅方面から来院される場合

名古屋駅から広小路通を東(東山公園方面)へ約30分

■ 瀬戸・尾張旭方面から来院される場合

新瀬戸駅から瀬戸国道363号線(瀬港線)を西(栄方面)へ、途中引山から県道215号線を経由し、計約30分

15. 愛知県の精神科病院（精神病床を有する病院）一覧



令和7年10月1日現在

No.	病 院 名	精 神 病床数	No.	病 院 名	精 神 病床数	No.	病 院 名	精 神 病床数
1	愛知県精神医療センター	273	19	岩 屋 病 院	325	37	東 春 病 院	297
2	杉 田 病 院	208	20	島 病 院	80	38	南 知 多 病 院	218
3	楠メンタルホスピタル	217	21	三 河 病 院	150	39	稲 沢 厚 生病院	51
4	北 林 病 院	345	22	羽 栗 病 院	95	40	北 津 島 病 院	270
5	独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター	38	23	京ヶ峰岡田病院	445	41	好 生 館 病 院	296
6	名古屋大学医学部附属病院	46	24	いまむら病院	260	42	七 宝 病 院	184
7	精 治 寮 病 院	171	25	上 林 記 念 病 院	341	43	刈 谷 病 院	207
8	名古屋市立大学病院	28	26	稲 狭 間 病 院 藤田こころケアセンター	283	44	衣 ヶ 原 病 院	145
9	松 蔭 病 院	527	27	和 合 病 院	511	45	豊 田 西 病 院	168
10	あいせい紀年病院	218	28	藤田医科大学病院	51	46	南 豊 田 病 院	240
11	笠 寺 精 治 寮 病 院	180	29	愛知医科大学病院	47	47	仁 大 病 院	151
12	独立行政法人国立病院機構 東 尾 張 病 院	183	30	し な の が 丘 病 院	140	48	矢 作 川 病 院	186
13	もりやま総合心療病院	484	31	豊 明 栄 病 院	210	49	犬 山 病 院	332
14	絃 仁 病 院	692	32	一 ノ 草 病 院	298	50	布 袋 病 院	221
15	八 事 病 院	425	33	共 和 病 院	186	51	豊 川 市 民 病 院	65
16	松 崎 病 院 豊橋こころのケアセンター	290	34	大 府 病 院	152	52	まつかざニアホスピタル	92
17	保 生 会 病 院	105	35	あさひが丘ホスピタル	172	計 52病院 11,875床		
18	可 知 記 念 病 院	518	36	愛知県医療教育総合センター 中 央 病 院	58			

(注) 病床数は、医療法第27条による使用許可を受けている病床数

番号の網掛けは、国公立病院

この冊子は、古紙再生紙を使用しています。

愛知県精神医療センターの概要 令和８年度
令和８年６月発行

発行所 愛知県精神医療センター
名古屋市千種区徳川山町四丁目1番7号
〒464-0031
TEL (052) 763-1511
FAX (052) 763-2519

